

令和6年度  
(令和5年度対象)  
教育委員会の点検・評価結果報告書



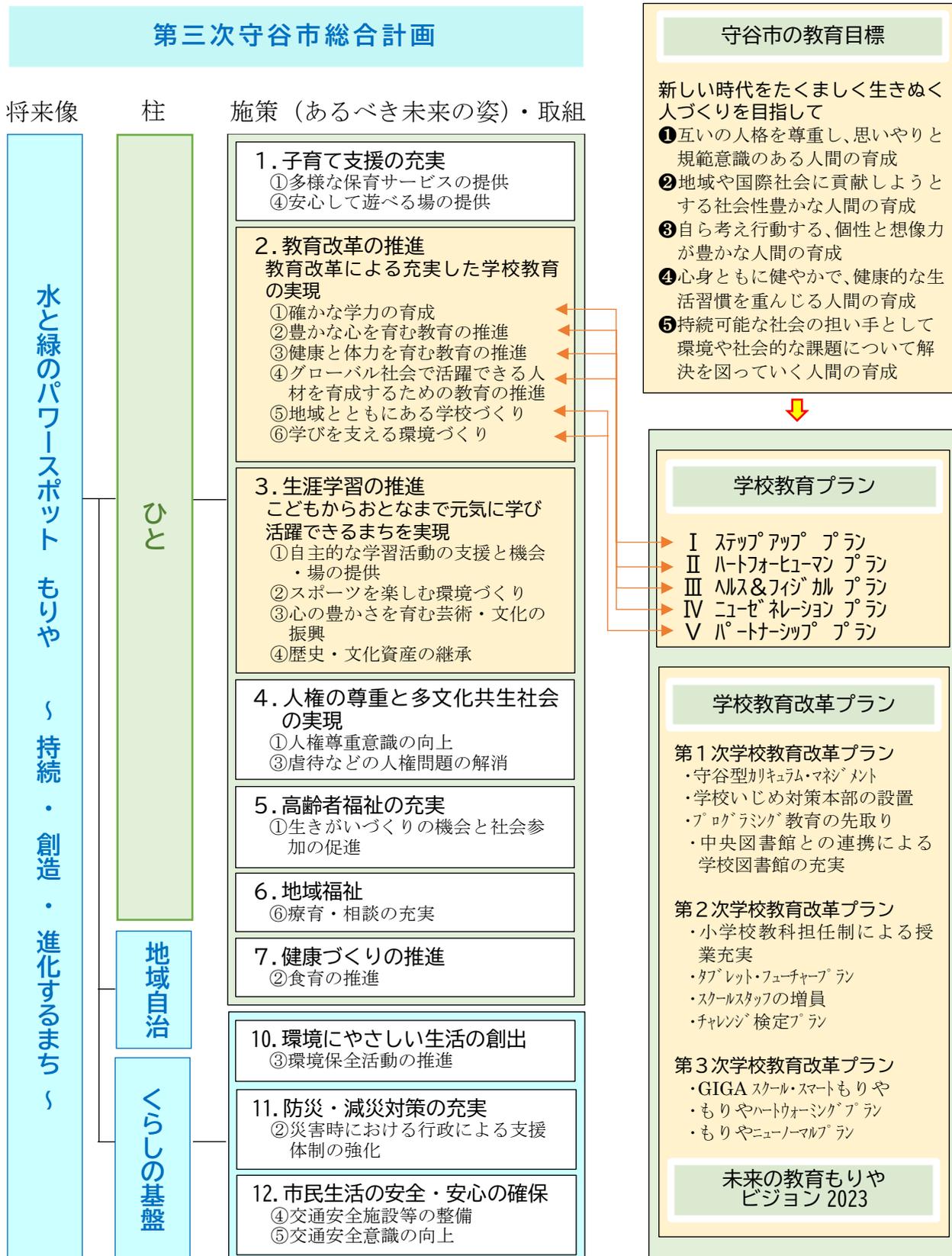
令和6年9月  
守谷市教育委員会

# 目 次

守谷市の教育体系	.....	P 2
施策(あるべき未来の姿)を実現するための主な取組一覧	.....	P 3
1 守谷市教育委員会の点検・評価について	.....	P 4
2 教育委員会の活動状況	.....	P 6
3 守谷市教育大綱に定めた施策体系別事業		
I 令和5年度重点事業一覧		
1 教育改革の推進	.....	P 13
2 生涯学習の推進	.....	P 19
II 施策実現のための主な取組		
1 教育改革の推進		
(1) 確かな学力の育成	.....	P 21
(2) 豊かな心を育む教育の推進	.....	P 23
(3) 健康と体力を育む教育の推進	.....	P 25
(4) グローバル社会で活躍できる人材を育成するための 教育の推進	.....	P 26
(5) 地域とともにある学校づくり	.....	P 28
(6) 学びを支える環境づくり	.....	P 29
2 生涯学習の推進		
(1) 自主的な学習活動の支援と機会・場の提供	.....	P 35
(2) スポーツを楽しむ環境づくり	.....	P 39
(3) 心の豊かさを育む芸術・文化の振興	.....	P 42
(4) 歴史・文化資産の継承	.....	P 43
4 感染症対策実施状況		
I 学校教育における感染症対策	.....	P 46
II 社会教育活動における感染症対策	.....	P 46
5 点検評価委員会委員 総括意見	.....	P 47

# 守谷市の教育体系

守谷市の教育行政は、第三次守谷市総合計画で定めた守谷市が目指す将来像の実現のため、教育改革による充実した学校教育の実現に向け、教育改革の推進に取り組みます。



## 施策（あるべき未来の姿）を実現するための主な取組一覧

<b>施策1 教育改革の推進 ～教育改革による充実した学校教育の実現～</b>	
<b>取組1-1 確かな学力の育成</b>	
1-1-1	守谷型カリキュラム・マネジメントの継続
1-1-2	学習支援ティーチャーの配置
1-1-3	市費負担教科担任の配置
1-1-4	学校図書館を活用した読書活動の推進
1-1-5	サタデー学習支援教室の実施
<b>取組1-2 豊かな心を育む教育の推進</b>	
1-2-1	特別支援教育の推進
1-2-2	いじめ防止対策の推進及び不登校対策の実施
1-2-3	情報モラル教育の推進
<b>取組1-3 健康と体力を育む教育の推進</b>	
1-3-1	ゆう遊タイムの活用など子どもの体力向上の推進
1-3-2	正しい食生活の理解や望ましい習慣の食育の推進
<b>取組1-4 グローバル社会で活躍できる人材を育成するための教育の推進</b>	
1-4-1	ALT活用による外国語教育の推進
1-4-2	ICTを活用した教育の推進
1-4-3	キャリア教育の推進
<b>取組1-5 地域とともにある学校づくり</b>	
1-5-1	地域と連携した学校運営と教育活動の推進
1-5-2	教育活動における地域人材の有効活用
<b>取組1-6 学びを支える環境づくり</b>	
1-6-1	教職員のICT活用能力及び資質能力の向上
1-6-2	学校における働き方改革の推進
1-6-3	学校施設等の教育環境の整備
1-6-4	部活動指導員配置の推進
1-6-5	交通安全意識の向上及び交通安全施設等の整備
<b>施策2 生涯学習の推進 ～こどもからおとなまで元気に学び 活躍できるまちを実現～</b>	
<b>取組2-1 自主的な学習活動の支援と機会・場の提供</b>	
2-1-1	学習機会と交流の場の提供
2-1-2	学びと活動を支える人材の確保
2-1-3	図書館サービスの充実
2-1-4	子どもの読書活動の推進
2-1-5	計画的な生涯学習関連施設の整備
2-1-6	安心できる子どもの居場所提供
<b>取組2-2 スポーツを楽しむ環境づくり</b>	
2-2-1	スポーツを気軽に楽しめる機会の創出
2-2-2	子どものスポーツ活動の推進
2-2-3	スポーツにかかわる組織の育成と連携・協働の推進
2-2-4	スポーツを活用した地域活性化
<b>取組2-3 心の豊かさを育む芸術・文化の振興</b>	
2-3-1	芸術・文化に触れる機会の充実
2-3-2	芸術・文化活動の支援
<b>取組2-4 歴史・文化資産の継承</b>	
2-4-1	歴史・文化財を知る機会の提供
2-4-2	歴史的資源を活用したまちづくりの推進

# 1 守谷市教育委員会の点検・評価について

## I 趣旨

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され（平成 20 年 4 月施行）、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を報告書として議会に提出し、公表することとなりました。

守谷市教育委員会においても、今後の効果的な教育行政の推進及び市民への説明責任を果たすことを目的として、平成 21 年度から前年度の教育委員会の事務の点検及び評価を実施しています。

本報告書は、令和 5 年度に守谷市教育委員会が実施した主要事業の実績に対する点検・評価としてまとめたものです。

### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## II 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、守谷市教育大綱で定めた「施策(あるべき未来の姿)」を実現するための主な取組のほか、当該年度に重点的に実施した事業です。

なお、守谷市教育委員会の個別の事業については、守谷市が実施する「行政評価」の中で、事務事業評価として別途評価を行っています。

## III 点検・評価の方法

点検・評価対象事業について、「守谷市教育大綱」に定めた施策体系別に、当該年度の取組内容を明らかにし、成果実績から課題等を分析して今後の対応の方向性を示します(自己評価)。

また、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関して学識経験を有する方に点検評価委員となっていていただき、様々な御意見、御助言をいただきます。

### ■守谷市教育委員会点検評価委員

(50 音順・敬称略)

氏名	所属等	任期
くろは つとむ 黒羽 勉	元取手市立藤代南中学校 校長 取手市教育委員会スポーツ振興課 学校教育指導員	令和 5 年～6 年
すずき ふじお 鈴木 不二男	元守谷市立守谷小学校 校長 守谷市総合教育支援センター センター長	令和 4 年～6 年
はなかた 羽中田 みどり	元守谷市小中学校 P T A 連絡協議会 会長	令和 4 年～6 年

#### IV 点検・評価の流れ

##### 1 教育委員会による自己評価

「守谷市教育大綱」の施策体系別に、当該年度に教育委員会各課が実施した「重点事業」及び「施策実現のための主な取組」について、指標数値により具体的な進捗状況を示しつつ、以下の項目を明らかにしていきます。

	重点事業	主な取組	内容
項目	-	目的	事業を実施することで達成させたい目標を記載。
	取組・成果	事業内容	令和5年度に所管課が取り組んだ事業内容について、実績が分かるように記載。
	課題	課題	令和5年度の実績を分析し、目的達成における課題を記載。
	対応方向	今後の方向性	課題を克服し、実績向上を図るために取り組んでいく今後の方向性を記載。
	-	外部からの意見	保護者や児童生徒、各種委員会等の構成員等から寄せられた意見や指摘等を記載。
	-	成果指標	事業の目的達成度を測る成果指標について、教育大綱最終年度となる令和8年度の目標値を設定するとともに、令和5年度の実績値と令和6年度予測値を記載。令和5年度実績については目標値に対する達成状況を、AからDの4段階で評価。

※「重点事業」は、「主な取組」と重複するため、評価項目を省略しています。

##### 2 点検評価委員による評価

点検評価委員会において、教育委員会の活動状況及び各事業の自己評価結果についての説明と、必要に応じて現地視察を行った後、十分な審議を経て、各事業について教育に関する知見に基づいた御意見をいただきます。

第1回点検評価委員会（令和6年6月12日）
○教育委員会点検・評価の趣旨、教育委員会自己評価結果概要の説明
○意見交換
第2回点検評価委員会（令和6年7月17日）
○授業視察、工事状況視察 御所ヶ丘中学校、御所ヶ丘小学校、郷州公民館
○意見交換

##### 3 点検・評価結果の公表

点検及び評価の結果については、守谷市教育委員会で議決し、事務局各課で共有して施策の見直しにつなげていくほか、守谷市議会に報告し、広く公表していきます。

## 2 教育委員会の活動状況

### I 教育委員会の予算・決算の状況

令和5年度の教育委員会所管の予算額及び決算額（歳出）は以下のとおりで、予算額が約45億7,846万円、一般会計総予算額に占める割合は10.7%、決算額は約41億7,708万円、一般会計総決算額に占める割合は11.3%となりました。

区分	令和5年度予算額	令和5年度決算額
<b>3 民生費</b>	<b>350,953,000</b>	<b>323,200,183</b>
2 児童福祉費	350,953,000	323,200,183
1 児童福祉総務費	350,953,000	323,200,183
<b>10 教育費</b>	<b>4,227,503,000</b>	<b>3,853,883,357</b>
1 教育総務費	1,405,650,000	1,326,361,780
1 教育委員会費	3,028,000	2,550,392
2 学校教育総務費	345,848,000	311,768,418
3 教育研究指導費	343,468,000	327,218,599
4 学校給食センター費	713,306,000	684,824,391
2 小学校費	1,030,662,000	963,915,453
1 学校管理費	410,379,000	365,007,805
2 教育振興費	182,143,000	161,220,027
3 学校建設費	438,140,000	437,687,621
3 中学校費	838,665,000	738,849,941
1 学校管理費	145,923,000	130,233,129
2 教育振興費	137,569,000	119,329,141
3 学校建設費	555,173,000	489,287,671
4 社会教育費	918,936,000	794,134,331
1 社会教育総務費	237,257,000	210,150,041
2 文化財保護費	8,340,000	7,158,740
3 集会所費	823,000	547,088
4 公民館費	391,429,000	304,317,178
5 図書館費	281,087,000	271,964,284
5 保健体育費	33,590,000	30,621,832
1 保健体育総務費	32,789,000	30,352,155
2 体育施設費	801,000	269,677
<b>12 諸支出金</b>	<b>1,000</b>	<b>545</b>
1 基金費	1,000	545
9 教育文化振興基金費	1,000	545
<b>合計</b>	<b>4,578,457,000</b>	<b>4,177,084,085</b>

※児童福祉総務費内容:児童クラブ運営事業

## II 教育委員会の会議の開催状況

### 1 教育委員会の構成

職名	氏名	任期
教育長	まちだ かおる 町田 香	令和3年4月1日～令和6年3月31日 ※令和6年4月1日～令和9年3月31日
教育長職務代理者	かわら たけし 河原 健	令和4年11月25日～令和8年11月24日
委員	はぎや なおみ 萩谷 直美	令和3年10月18日～令和7年10月17日
委員	しいな かずよし 椎名 和良	令和2年4月1日～令和6年3月31日 ※令和6年4月1日～令和10年3月31日
委員	てらだ ひろむ 寺田 弘	令和2年10月1日～令和6年9月30日

※=再任の任期

### 2 教育委員会会議の開催状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第16条に基づき、守谷市教育委員会会議規則を定め、毎月定例会を開催し、緊急を要するときには臨時会を開催し、事務局と連携しながら議論を重ね、施策を推進してきました。

会議	開催回数	審議内容等
定例会	12回	規則の制定・改廃、事務の管理・執行基本方針、市職員の人事、附属機関の委員の委嘱等
臨時会	1回	教職員及び事務局職員の人事異動

### 3 教育委員会会議での案件別審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第25条及び「守谷市教育委員会事務委任規則」第2条の規定に基づき、令和5年度は51件について審議しました。

審議案件	件数
教育委員会規則の制定及び改廃	22件
教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針	15件
職員の人事に関すること	5件
法令又は条例に定めのある附属機関の委員の委嘱	9件

※ 審議案件のほか、報告事項及び協議事項として11件を取り扱いました。また、定例会ごとに市内小中学校及び教育委員会事務局各課の状況報告を受けました。

### Ⅲ 教育委員会会議以外の活動状況

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学校訪問や各種行事等に参加し、意見交換や現場確認を行うなど、活発な活動を通じて教育行政の推進に努めました。

参加行事	活動内容
学校訪問	・教育委員会合同訪問（令和5年5月16、17、30、31日）
研修会	・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進研修会（令和6年3月1日）
各種行事・大会	・小中学校運動会・卒業式 ・プレゼンテーションフォーラム（令和5年7月14日） ・もりや型教育改革の提案発表会（令和5年8月30日） ・二十歳の記念式典（令和6年1月7日） ・守谷ライオンズクラブ杯イングリッシュフォーラム2023（令和6年1月27日）

### Ⅳ 令和5年度教育委員会審議案件等一覧

#### Ⅰ 審議案件

議案番号	議案名	開催
21	守谷市長と守谷市教育委員会との地方自治法第180条の3の規定に基づく協議について	4月定例
22	守谷市教育委員会点検評価委員の委嘱について	4月定例
23	守谷市学校産業医の選任について	4月定例
24	通学区域審議会委員の委嘱について	4月定例
25	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について（守谷市特別職の職員の給与、報酬、議員報酬、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例）	4月定例
26	守谷市学校看護師配置要綱について	4月定例
27	守谷市立学校における医療的ケア実施要綱について	4月定例
28	守谷市通学区域審議会に対する諮問について	5月定例
29	守谷市社会教育委員の委嘱について	5月定例
30	守谷市民設民営児童クラブ運営事業費補助金交付要綱の一部改正について	5月定例
31	守谷市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について	5月定例
32	守谷市図書館協議会委員の委嘱について	5月定例
33	守谷市いじめ問題重大事態調査委員の委嘱について	5月定例
34	守谷市いじめ問題重大事態調査委員会への諮問について	5月定例
35	守谷市教育支援委員会委員の委嘱について	5月定例
36	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について （令和5年度守谷市一般会計補正予算（第3号）（教育委員会所管分）	5月定例

37	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について（守谷市放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例）	6月定例
38	令和6年度使用小学校教科用図書の採択について	7月定例
39	令和6年度使用小学校特別支援学級（知的障害）教科用図書の採択について	7月定例
40	令和6年度使用中学校特別支援学級（知的障害）教科用図書の採択について	7月定例
41	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について（令和5年度守谷市一般会計補正予算（第4号）（教育委員会所管分）	8月定例
42	守谷市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について	9月定例
43	守谷市立小中学校の就学指定校の変更に関する取扱要綱の一部を改正する要綱について	9月定例
44	教育委員会の点検・評価結果報告書の提出について	9月定例
45	学校給食センター運営委員会への諮問について	9月定例
46	守谷市長と守谷市教育委員会との地方自治法第180条の3の規定に基づく協議について	10月定例
47	守谷市語学指導支援事業実施要綱の制定について	11月定例
48	守谷市学校給食費取扱要綱の廃止について	11月定例
49	守谷市学校給食費に関する規則の制定について	11月定例
50	守谷市学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの改訂について	11月定例
51	守谷中央図書館大規模改修工事基本設計・実施設計業務プロポーザル審査委員会の設置及び運営に関する要綱の制定について	11月定例
52	守谷市学校運営協議会設置運営規則の制定について	11月定例
53	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について（守谷市特別職の職員の給与、報酬、議員報酬、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例）	11月定例
54	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について（令和5年度守谷市一般会計補正予算（第5号）（教育委員会所管分）	11月定例
55	守谷市英語検定料補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	12月定例
56	守谷市いじめ問題重大事態調査委員会への諮問について	12月定例
57	守谷市いじめ問題重大事態調査委員会臨時委員の委嘱について	12月定例
1	守谷市教育委員会会議規則の一部を改正する規則について	1月定例
2	守谷市立中学校部活動等各種大会参加補助金交付要綱の一部を改正する要綱について（取下げ）	1月定例
3	守谷市通学補助員要綱の一部を改正する要綱について	1月定例
4	守谷市放課後子ども教室運営規則の一部を改正する規則について	1月定例
5	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について（守谷市立学校体育施設開放条例の一部を改正する条例について）	1月定例

6	事務局職員の人事に関し教育長に専決させる件について	2月定例
7	議会の議決を経るべき議案についての意見の申出について	2月定例
8	教職員の人事異動について	3月臨時
9	守谷市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について	3月臨時
10	守谷市立小中学校の就学指定校の変更に関する取扱い要綱の一部を改正する要綱について	3月臨時
11	令和6年度（令和5年度対象）守谷市教育委員会「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」実施方針について	3月定例
12	守谷市立中学校部活動等各種大会参加補助金交付要綱の一部を改正する要綱について	3月定例
13	守谷市立小中学校就学援助費交付要綱の一部を改正する要綱について	3月定例
14	守谷市通学区域審議会の委員の選任について	3月定例

※ 議案番号は、暦年切替えとなっています。

## 2 報告案件

報告番号	報告件名	開催
3	守谷市社会教育主事の任命について	4月定例
4	守谷市地域クラブ活動ガイドライン及び守谷市部活動地域移行進行プランの制定について	4月定例
5	令和5年度中学校修学旅行日程の変更について	4月定例
6	令和5年守谷市議会5月臨時議会について（教育委員会所管分）	5月定例
7	令和5年守谷市議会6月定例会月議会について（教育委員会所管分）	6月定例
8	令和5年度守谷市民設民営児童クラブ運営事業費補助金交付対象事業者選考委員会委員の委嘱（任命）について	7月定例
9	令和5年守谷市議会9月定例会月議会について（教育委員会所管分）	9月定例
10	守谷市通学区域審議会の報告について	9月定例
11	学校給食センター運営委員会答申について	11月定例
12	令和5年12月定例会月議会の報告について（教育委員会所管分）	12月定例
13	守谷中央図書館大規模改修工事基本計画・実施計画業務プロポーザル審査委員について	12月定例
1	守谷中央図書館大規模改修工事基本設計・実施設計業務委託事業者の選定結果について	2月定例
2	守谷市通学区域審議会の答申について	3月臨時
3	令和6年守谷市議会3月定例会月議会について（教育委員会所管分）	3月定例
4	守谷市いじめ重大事態調査委員会からの調査報告書について	3月定例

### 3 協議案件

協議番号	協議件名	開催
1	守谷市社会教育関係団体補助金交付要綱の制定について	12月定例
2	守谷市スポーツ関係団体補助金交付要綱の制定について	12月定例
1	守谷市放課後子ども総合プラン運營業務委託事業者選考委員会設置要綱の制定について	1月定例
2	守谷市児童クラブの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	3月定例
3	守谷市スポーツ少年団選手大会派遣補助金交付要綱の制定について	3月定例

### 4 令和5年度教育委員会 請願・陳情件名 なし

## IV 総合教育会議の開催状況

教育委員会と地方公共団体の長との十分な意思疎通を通して、より民意を反映した教育行政の推進を図ることを目的に、市長主宰による総合教育会議を開催しています。令和5年度も以下内容について協議し、施策の執行に生かしていけるよう、教育に関する政策の方向性を共有しました。

	開催期日	内 容
1	令和5年11月6日	報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校部活動の地域移行について</li> <li>・医療的ケア児支援事業の実施状況について</li> <li>・アレルギー対応食実施状況について</li> <li>・給食費公会計化の進捗状況について</li> <li>・中央図書館大規模改修工事設計業務の見直しについて</li> </ul> 協議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・守谷市立中学校における平和教育について</li> <li>・守谷市立小中学校の水泳授業について</li> <li>・不登校、いじめ防止対策の推進強化について</li> </ul>

◇教育委員会の活動状況に対する点検評価委員の意見

- ・教育予算を十分に掛け、児童生徒のための計画が図られている。また、決算額が予算額を下回っており、予算が無駄なく適切に執行されているが推察される。今後とも適切な取組を進めていただきたい。
- ・教育委員会の定例会、臨時会、総合教育会議等を通して、各関係者・関係機関との意思疎通を図り、様々な教育課題に対して、適切にかつ迅速に対応されていることが理解できた。



### 3 守谷市教育大綱に定めた施策体系別事業

教育施策は、福祉や地域づくり、防災などの様々な分野における方向性も踏まえて検討する必要があるため、守谷市教育委員会では、市の将来像や施策の方向性を網羅する「第三次守谷市総合計画」の教育に関する部分を、「守谷市教育大綱」として定めています（P2 図参照）。

「守谷市教育大綱」では、大きく「教育改革の推進」と「生涯学習の推進」を施策とし、各施策で「あるべき未来の姿」を設定して、その実現を目指し取組を進めていくこととしていますが、これにより、市の教育目標「新しい時代をたくましく生き抜く人づくり」についても、より充実させた形で達成されることとなります。

各施策を実現させるための主な取組は一覧（P3 図参照）のとおりとなりますが、教育委員会では、毎年度、これらの中から重点的に取り組む事業を設定していますので、点検・評価では「当該年度の重点事業」と「施策を実現させるための主な取組」を対象としていくこととしています。

#### I 令和5年度重点事業

##### 1 教育改革の推進

###### (1) 確かな学力の育成

###### ニューノーマルな学校生活の推進（教育指導課）

###### 【取組・成果】

一人1台端末を効果的に活用して、児童生徒が主体的、探究的な学びができるようにするとともに、一人ひとりに個別最適化された学びを実現。

○PC・タブレットなどのICT機器を授業で週3日以上使用した割合

小6：82.2%、中3：92%（R5全国学力診断テスト質問用紙より）

○令和5年度全国学力学習状況調査結果

小6国語72点（+4.8点）、算数69点（+6.5点）

中3国語75点（+5.2点）、数学58点（+7点）、英語54点（+8.4点）

※（）は全国平均との比較

###### 【課題・今後の方向性】

- ・全国学力学習状況調査において、毎年全国平均を上回る結果である。今後は更に全国平均+11点を目指し、取り組んでいきたい。

###### 学校図書館を活用した読書活動の推進（中央図書館）

###### 【取組・成果】

○中学生の読書に関するアンケートを実施

中学生の読書量の減少は「学校読書調査」\*の結果から全国的な傾向であることが分かっており、当市においても学校図書館資料の一人当たり貸出数は、小学校43.1冊、中学校7.28冊となっている。このため、市内中学生の読書意識・傾向・環境等の現状把握を目的に、市内全4校全学年にアンケート調査を実施した。この結果、当市の中学生は概ね本を読むことが好きで読書をしていること、大人が考える中学生の読書分野と実際に読まれている分野に相違があること、電子書籍を読む生徒は全体の18%であることなど、今後の課題解決につながる結果

を得ることができた（回答者数：1,562人、回答結果：「本を読むことが好き・どちらかと言えば好き」76%、「1か月の読書量（まんが・雑誌を除く図書または電子書籍）」1冊23%。0冊19%、2冊18%、10冊以上は15%、3冊13%）。

※ 毎年、全国学校図書館協議会と毎日新聞社が全国の小中高校生を対象に実施

○本のPOPコンテストを開催

読書量が低下傾向にある中学生に本への理解と親しみを深めてもらい、読書意欲の向上を図ることを目的に開催。166点の応募作品を中央図書館展示スペースに展示し、来館者投票により受賞者を決定。金賞、銀賞、銅賞外3賞には賞状及び図書カードを授与した。令和4年度まで実施していた本の帯コンテストから、教科書に掲載されているPOPに作品を変更したため、より親しみをもち、取り組みやすかったことが応募作品数の増加に繋がったと推測する。また、コンテスト開催後、友達がPOPコンテストで紹介していた本を探しに来館した生徒があった。

【課題・今後の方向性】

- ・アンケート回答者において、本を読むことがきらい、どちらかと言えばきらいという生徒が24%、1か月に本を全く読まない生徒が19%存在する。回答から得られた読書傾向等を参考に、学校図書館での選書や読書推進の取り組みに反映し、働きかけていく必要がある。
- ・POPコンテストに参加する生徒がいる反面、参加しない生徒もいるという現状がある。今後、より多くの生徒に参加してもらうために、効果的な周知に努めるとともに、参加意欲が高まる付加価値についても検討していく。

## (2) 豊かな心を育む教育の推進

いじめ防止対策・不登校対策の推進～校内フリースペースの増設など（教育指導課）

【取組・成果】

はばたきから校内フリースペースと学びの場がスモールステップで準備されており不登校対策として有効であった。

フリースペース小学校延べ138人 毎月平均利用者数 10人程度

フリースペース中学校延べ481人 毎月平均利用者数 40人程度

【課題・今後の方向性】

- ・令和5年度の30日以上学校欠席者は、小学校75人で前年度より33人減、中学校135人で前年度10人増となっている。令和6年度からは、スクールソーシャルワーカーを増員し、相談体制を充実させて未然防止に努める。

## (3) 健康と体力を育む教育の推進

学校給食におけるアレルギー対策（学校給食センター）

【取組・成果】

令和5年4月から卵・乳を含む主食・料理のみの代替食提供を開始した。

学校給食食物アレルギー対応は、以下のレベルにより実施・対応を図った。

○レベル1 詳細な献立表の提供（対応人数：115人）

学校給食の原材料を詳細に記した「詳細献立表」「喫食確認表」を家庭に配布。学校は保護者が記入した「喫食確認表」で喫食判断できるようにした。

○レベル2 弁当対応（対応人数：2人「完全弁当対応」）

レベル1以上の対応を希望した全ての児童生徒に弁当持参を許可。

- ・一部弁当対応 原因食物を料理に使用しており、除去が困難な場合
  - ・完全弁当対応 原因食物種類が多い場合や重篤なアレルギー症状を起こす場合など、学校給食を継続して食べることができないと判断される場合
- レベル3 除去食対応（飲用牛乳の停止）（対応人数：119人 ※食物アレルギー対応以外での停止者も含む）

飲用牛乳のみを提供を中止し、給食費の減免の対応を行っている。

- レベル4 代替食（卵・乳を含む主食、料理の代替食提供）（対応人数：40人）

卵（鶏卵）・乳（牛乳・乳製品）を含む主食、料理から原因物質を除き、別の食品を用いて給食提供（代替食に限り、記名された専用容器で提供）。

※代替食提供（献立）は、以下のとおり。

月	通常食	代替食	除去	代替
4月	かぶのクラムチャウダー	かぶのクラムチャウダー	牛乳・バター	豆乳
5月	桜エビと卵のスープ	桜エビのスープ	卵	豆腐増量
6月	小松菜とチーズのサラダ	小松菜サラダ	チーズ	ささみ増量
	プリンタルト	豆乳タルト	卵・牛乳	豆乳
7月	卵ときのこのほっこりスープ	きのこスープ	卵	豆腐増量
	コーンポタージュ	豆乳ポタージュ	牛乳・バター	豆乳
	ハンバーグ玉ねぎソース	豆腐ハンバーグ	卵	豆腐
8月	卵の中華スープ	中華スープ	卵	豆腐・鶏肉増量
	人参と卵のしりしり	人参しりしり	卵	ツナ増量
9月	ヨーグルト	お米のババロア	牛乳	米粉・豆乳
	チーズ	お魚かまぼこ	チーズ	かまぼこ
10月	野菜と卵のマヨネーズサラダ	野菜のマヨネーズサラダ	卵	野菜増量
11月	りんごとパインのヨーグルト和え	りんご煮とパイン和え	ヨーグルト	
	かきたま汁	豆腐のすまし汁	卵	豆腐増量
	里芋の和風ミルクシチュー	里芋の和風シチュー	牛乳・バター	豆乳
12月	米粉のクリームシチュー	豆乳のクリームシチュー	牛乳・バター	豆乳
	かきたま汁	豆腐のすまし汁	卵	豆腐増量
1月	オムレツ玉ねぎソース	鶏肉の玉ねぎソース	卵	鶏肉
	スペイン風卵スープ	コンソメスープ	卵	玉ねぎ増量
	親子煮	鶏肉と凍り豆腐の煮物	卵	鶏肉・玉ねぎ増量
2月	星型チーズのサラダ	かまぼこのサラダ	チーズ	かまぼこ増量
	中華風卵コーンスープ	中華風コーンスープ	卵	玉ねぎ・コーン増量
3月	しらす枝豆玉子焼き	お魚かまぼこ	卵	かまぼこ
	ほうれん草とチーズのサラダ	ほうれん草サラダ	チーズ	ほうれん草増量
	ほうれん草オムレツ	ほうれん草と鶏肉のソテー	卵	鶏肉
	ペンネたらこクリームソース	ペンネたらこ豆乳ソース	牛乳・バター	豆乳
4月	卵のミモザサラダ	コールスロー	卵	キャベツ増量
	かきたまみそ汁	豆腐のみそ汁	卵	豆腐・かまぼこ増量
	にら玉スープ	鶏肉と野菜のスープ	卵	鶏肉
	フルーツのヨーグルトあえ	フルーツポンチ	ヨーグルト	黄桃・パイン増量
	チーズ	お魚かまぼこ	チーズ	かまぼこ
オムレツデミグラスソース	豚肉のデミソース炒め	卵	豚肉	

【課題・今後の方向性】

- ・マニュアル内容を随時見直し、食物アレルギーを持つ児童生徒が安心して楽しく給食の時間を過ごすことができるよう、安全を最優先とした学校給食を提供。
- ・学校関係者に自分の担当部分のみでなくマニュアル全体について理解するよう指導し、担当者が不在となる場合でも対応できるような体制を確立する。
- ・アレルギー対応レベル4について、保護者から小麦の代替食を望む声があり、実施に向けた方策を検討する。

(4) グローバル社会で活躍できる人材を育成するための教育の推進

外国語教育の推進～オンライン英会話の対象範囲の拡大など（教育指導課）

**【取組・成果】**

○中学3年時での英検3級の取得人数及び取得率

守谷市 57.6% (+28.4%)

※( )は全国取得率との比較

○英検 IBA「RL 読むこと・話すことテスト」

中学校1年生 598.0点 (+56.8点)

中学校2年生 729.9点 (+38.2点)

中学校3年生 784.0点 (+31.8点)

※( )は茨城県平均との比較

**【課題・今後の方向性】**

・「話す・聞く」といった音声言語能力は向上しているが、論理的に話す力までは育っていない。今後はさらに、書く力の向上にも力を入れていきたい。

**(5) 地域とともにある学校づくり****コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 (生涯学習課)****【取組・成果】**

近年、教育の基盤として、学校と地域の連携・協働体制の確立が位置付けられ、その仕組みづくりが求められている中で、御所ヶ丘中学校区(モデル校区)において、まちづくり協議会等と連携・協働し、「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」を試行導入した。子どもたちや学校が抱える課題を地域全体で共有し、応援する体制づくりと、次の取組を行った。

**《モデル校区での取組》**

- ・御所ヶ丘中学校区内4校(御所ヶ丘中学校・大井沢小学校・御所ヶ丘小学校・松前台小学校)が連携した組織「保幼小中高一貫教育運営委員会」を「学校運営協議会」に移行した。
- ・北守谷地区・大井沢地区まちづくり協議会と連携し、地域防災、キャリア教育などをテーマに「地域学校協働活動」に取り組んだ。

**【課題・今後の方向性】**

・モデル校区での実証事業を通して、学校と地域の相互理解につながるような関係性を構築するため、学校と地域の橋渡し役となる地域コーディネーター(地域協働活動推進員)の選任により連携機能の充実を図るとともに、取組の成果を他校区に波及させ、地域とともにある学校づくりを進める。

**(6) 学びを支える環境づくり****御所ヶ丘中学校校舎改修工事 (学校教育課)****【取組・成果】**

仮設校舎の設置を完了させ、校舎の屋根・外壁更新、北側校舎1~3階の教室・廊下の床や壁・天井の更新等、全工区の4分の1まで工事を進捗させた。

○工期：令和5年9月20日~令和7年2月28日

○工事内容：校舎及び技術棟の屋根更新・外壁防水塗装、内装等改修・更新、LED化、空調撤去・再設置、配管類の更新など

**【課題・今後の方向性】**

・学校施設長寿命化計画や学校適正配置方針との整合性を図りながら、令和6年度中に工事完了できるよう、関係各所との調整や工事進捗を進めていく。

御所ヶ丘小学校屋内運動場改修工事（学校教育課）
【取組・成果】
<p>屋根や外壁、内装等の改修・更新のほか、発電機能付き空調機を設置し、建物の長寿命化と避難施設としての機能向上を図った。</p>
○工期：令和5年6月15日～令和6年2月28日
○工事内容：屋根更新・外壁防水塗装・内装更新・バリアフリースイッチ設置・ウォータークーラー新設・空調機10台新設・照明LED化等
【課題・今後の方向性】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設長寿命化計画との整合性を図りながら、今後も安全安心な施設維持管理に努めていく。</li> </ul>
屋内運動場照明器具のLED化（学校教育課）
【取組・成果】
<p>水銀灯の製造・輸出入禁止に伴い、高野小・松前台小・守谷中・けやき台中の屋内運動場照明（水銀灯）をLED照明に更新した。</p>
○工期：令和5年6月3日～9月30日
【課題・今後の方向性】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設長寿命化計画との整合性を図りながら、維持管理にコストが掛からず、高照度のLEDへの更新を進めていく。</li> </ul>
けやき台中学校校舎改修工事（実施設計）（学校教育課）
【取組・成果】
<p>令和6～7年に大規模改修工事（屋根や外壁、内装等の改修・更新、受変電設備更新等）を実施するための実施設計を行った。また、工事期間中に生徒一部が使用する仮設校舎リースの設計部分を早めに終了させ、契約締結につなげた。</p>
○契約期間：令和5年6月10日～令和5年2月28日
※仮設校舎リース契約：令和6年1月16日～令和8年6月30日
【課題・今後の方向性】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設長寿命化計画や学校適正配置方針との整合性を図りながら、令和6年度から工事を円滑に実施できるよう、関係各所との調整や工事準備を進めていく（令和6年9月契約～10月工事開始～令和8年3月工事終了）。</li> </ul>
部活動の地域移行（生涯学習課）
【取組・成果】
<p>学校・地域団体等と教育委員会が連携して国が推進する部活動地域移行を実現するため、「地域部活動運営協議会」を組織し、進捗管理・効果検証・課題解決を図った。</p>
<p>市内4中学校全52部活動のうち、12部活動における休日の部活動運営を一般社団法人守谷市スポーツ協会（以下、「市スポーツ協会」という。）に委ね、地域指導者による指導を行うとともに、指導者として必要な知識や技能を身に付けられるよう、指導者養成講習会を複数回開催し、質の向上を図った。</p>
<p>新たな取組として、既存の部活動にはないダンス体験教室、プロアスリートによるハンドボール特別教室や、市内民間施設を活用したテニス教室等を開催し、学校部活動とは違った環境で、地域クラブ活動につながる取組を試行実施した。</p>

また、12部活動(※1)及び新たな取組を、地域クラブ「MSCC(守谷スポーツ文化クラブ)」の活動に位置付け、活動拠点となる学校体育館・格技場・グラウンドのほか保健室、現場責任者の待機場所等の使用について、学校と教育委員会が協議し、管理エリアの区分によりセキュリティ面の課題解決を図った。

ふるさと納税を活用したクラウドファンディング「地域クラブ活動応援サポートプロジェクト」により、全国に呼び掛け、事業にかかる財源確保を行った。(※2)

※1 地域指導者配置部活動数：守谷中1、愛宕中7、御所ヶ丘中2、けやき台中2

※2 目標金額：5,000千円 寄付金額：5,691千円(達成率113.8%) 支援人数：237人

《主な取組》

令和5年 4月	・地域指導者による休日指導(2部活動) ・ハンドボール特別教室開催 対象：中学生
5月	指導者養成講習会(ハラスメント・コミュニケーション・チームビルディング等に関する研修)開催
5月～6月	保護者説明会実施(休日指導対象部活動)
7月	地域部活動運営協議会開催(学校部会)
7月～	地域指導者による休日指導(+10部活動)
9月	ダンス体験教室 対象：小中学生
10月	・指導者養成講習会(救命救急)開催 ・地域部活動運営協議会(全体会議)開催
11月	・ふるさと納税型クラウドファンディング開始(90日間) ・指導者養成講習会(ハラスメント・コミュニケーション・チームビルディングに関する研修、医科学的な視点から見たスポーツ指導、アレルギー対応(エピペン)研修)開催
令和6年 1月	・テニス特別教室開催 対象：小中学生 ・地域部活動運営協議会(全体会議)開催
2月	・地域部活動運営協議会(全体会議)開催
3月	・卓球特別教室開催 対象：小中学生

【課題・今後の方向性】

- ・既存部活動全てに地域指導者を配置することは困難なため、競技・種目ごとに指導者を確保し、休日活動を複数校合同で行うなど、地域クラブ「守谷スポーツ文化クラブ(通称：MSCC)」の運営体制の確立を目指す。
- ・移行期間終了(令和7年度予定)後、参加費等の自己負担費用が、参加することの妨げになり、スポーツ・文化活動の体験格差が広がらないよう、就学援助制度同等の支援を検討する。
- ・地域指導者による指導を開始した部活動に所属する生徒・保護者の約70%がともに、「優れた指導者に技術を教わることができる」などのメリットを感じている。また、学校の働き方改革の観点からも、地域指導者を配置した部活動顧問(教職員)について、月平均10時間の時間外勤務削減につながっていることから、令和6年度はさらに拡大し、計20部活動を目安に地域指導者を配置する。

## 2 生涯学習の推進

### (1) 自主的な学習の支援と機会・場の提供

#### 郷州公民館改修工事（生涯学習課）

##### 【取組・成果】

建物の長寿命化と設備の機能向上に加え、エレベーター構造計算、建物内部設置に伴う確認申請機関との協議を行うことで、より適正な工事施工計画を整え、当初計画したスケジュールのとおり、工事着工した。

○工期：令和5年9月20日～令和6年8月31日

○内容：エレベーター設置、玄関開口口拡張、集会室・和室・調理室の利活用スペース拡張、トイレの洋式化、図書室の環境改善 他

##### 【課題・今後の方向性】

- ・令和6年10月に予定しているリニューアルオープンに向けて、工事の進捗管理、近隣施設との調整、備品の新調など必要な準備を進める。

#### 北守谷公民館改修工事（実施設計）（生涯学習課）

##### 【取組・成果】

建築後25年を迎え、設備不調が著しい施設を改善し、安心・安全な施設環境の確保と維持管理経費の縮減を図るとともに、指定避難所の位置付けに対応するため、施設の一部にGHP（ガスヒートポンプエアコン）を導入し、避難施設としての機能向上に必要な設計内容とした。

○工期：令和6年9月中旬～令和7年8月31日（予定）

○内容：エレベーター交換、建物外部・外構・内装全般仕上、トイレ乾式化、ホール照明・音響設備、給排水設備、ガス設備、空調設備改修 他

##### 【課題・今後の方向性】

- ・令和6年10月から円滑に改修工事が実施できるよう、関係部署・機関、施設使用団体、指定管理者等との連絡調整及び必要な協議を行う。

#### 中央図書館改修工事（基本設計・実施設計）（中央図書館）

##### 【取組・成果】

中央図書館の大規模改修工事の着工に向けて、令和4年10月に利用者アンケートを実施し、施設・設備の現状とアンケートの結果をもとに改修構想案をまとめ、総合教育会議において協議・調整を行った。令和5年度に入り、改修方針について図書館協議会において協議・調整を行うとともに、先進的な活動を行う他市図書館の視察等を実施した結果を踏まえ、改めて総合教育会議において改修工事の方針等を協議・調整した結果、施設・設備の更新に加え、利用者ニーズを十分に反映した、新たな空間・機能を備えた、快適で魅力ある図書館へ転換すべきとの結論に至り、補正予算等を12月定例月議会に上程し、議案が承認され、改修工事の工程に基本設計を追加することが決定した。議会終了後に、公募型プロポーザル方式による設計事業者選定の募集を始め、プロポーザル審査委員会による選考を経て、事業者が決定し、3月に委託業務契約を締結した。

○工期：令和7年10月～令和8年10月

### 【課題・今後の方向性】

- ・改修後の図書館において、デジタル化による利便性の向上や業務効率化を図るなど、デジタルトランスフォーメーションの推進は必須となるが、費用が膨大であるため、デジタル田園都市国家交付金（デジタル実装タイプ）<sup>\*</sup>等の利用を考慮した予算化に努める必要がある。

※デジタル技術を活用し、地方の活性化や行政・公的サービスの高度化・効率化を推進するため、デジタル実装に必要な経費などを国が支援するもの

## ◇令和5年度重点事業に対する点検評価委員の意見

### 1 教育改革の推進

#### (1) 確かな学力の育成

- ・全国学力学習状況調査において、小学校、中学校ともに全国平均を上回っている。ICT機器を活用した、個別最適な学びの成果の一つだと思う。
- ・本のPOPコンテストなど、子どもの読書活動も大切にしている点が素晴らしい。

#### (2) 豊かな心を育む教育の推進

- ・「校内フリースペース」の増設等、登校の心理的ストレスを緩和する取組が、不登校対策として成果を上げている。スクールソーシャルワーカーの増員など、先を見通した不登校への未然防止の取組がなされており、更なる不登校支援に期待する。

#### (3) 健康と体力を育む教育の推進

- ・学校給食におけるアレルギー対策が、個のニーズに応じてレベル別に細やかに対応されていることに感心した。マニュアルの随時見直し、その基準は安全を最優先とする姿勢を高く評価したい。

#### (5) 地域とともにある学校づくり

- ・コミュニティ・スクールの導入について、モデル事業の御所ヶ丘中学校区において、既に職場体験学習のコーディネートで成果が上がっているとのことをお話を聞き、これまでに築いてこられた学校と地域の関係の良さを感じた

#### (6) 学びを支える環境づくり

- ・市内各校の体育館修繕が進み、冷房未設置は数校を残すのみで数年内に設置完了の予定とのこと。昨今の暑さは命の危険も伴う程であるにも拘わらず、県内小中学校の導入率は1割らしい。守谷市の学校環境の安全への意識の高さと計画性は素晴らしいと思う。

### 2 生涯学習の推進

#### (1) 自主的な学習の支援と機会・場の提供

- ・郷州公民館の改修工事を見学し、時代や地域の要望に応じた画期的な公民館の建設が進められていることが分かった。

## II 施策実現のための主な取組

施策実現のための主な取組については、成果指標の令和8年度目標値達成度を以下4段階で評価しています（参考：県教育委員会点検評価達成基準）。

- |   |                        |
|---|------------------------|
| A | 期待以上の成果(100%以上)        |
| B | 概ね期待どおりの成果(80~99%)     |
| C | 期待した成果を下回っている(50~79%)  |
| D | 期待された成果があがっていない(50%未満) |

### I 教育改革の推進

#### (1) 確かな学力の育成

単位:千円(前年度)

事業名	1-1-1 守谷型カリキュラム・マネジメントの継続	決算額	—				
目的	教職員が担うべき業務に専念できる環境や児童生徒と向き合う時間を確保し、長時間勤務の働き方を改善することで、児童生徒の学びの質の保障をする。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>週3日5時間授業(月、水、金)の実施</li> <li>中学校「部活動改革」の推進</li> </ul>						
課題・対応方向	ラーケーション導入や WBGT における活動制限等による児童生徒の授業時数確保が課題である。一人1台タブレットのeドリルを活用し、学習保障ができるようにしていきたい。また、中学校での超過勤務時間が依然として長い状況であり、課題であるが、部活動への地域指導者配置の推進により、勤務状況の改善につながると思う。						
外部からの意見	・守谷市の特徴的な取組である守谷型カリキュラム・マネジメントは、全国から注目され、教員の働き方改革にも大きく貢献している。(県外視察者)						
担当課	教育指導課						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	全国学力・学習状況調査で全国平均正答率を市平均正答率が上回っている教科の割合	100%	100%	100%	100%	100%	A
	意欲をもって授業に臨んでいる児童生徒の割合	78.9%	90.0%	80.7%	82%	90%	B
	小学校教職員の超過在校等時間月45時間以内の割合	67.5%	77.5%	85%	87%	100%	B
	中学校教職員の超過在校等時間月45時間以内の割合	42.2%	40.0%	56%	58%	80%	C

事業名	1-1-2 学習支援ティーチャーの配置	決算額	57,077(56,069)				
目的	個に応じたきめ細かな学習指導や生活習慣指導を行うため、チームティーチング(担当教職員と学習支援ティーチャー)による指導の充実を図り、分かる授業を展開することで、学力向上を目指す。						
事業内容	小学校に配置された市費の非常勤講師28名と学級担任との複数体制できめ細やかな学習支援及び生活指導を行った。						
課題・対応方向	近年、特別な配慮を要する児童が増加傾向にあり、個に応じたきめ細やかに支援できる学習支援ティーチャーの存在は大きく、学力向上に寄与している。今後も担任と連携しながらチームティーチングを推進できるように研修体制を確立する。						

外部からの意見	・小学校入学で不安が大きい中、複数の目で見守られことで安心している。(けやき台中学校区住民)						
担当課	教育指導課						
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況	
全国学力・学習状況調査で全国平均正答率を市平均正答率が上回っている教科の割合	100%	100%	100%	100%	100%	A	
意欲をもって授業に臨んでいる児童生徒の割合	78.9%	80.6%	80.7%	82%	90%	B	

事業名	1-1-3 市費負担教科担任の配置	決算額	107,725(95,000)				
目的	市内小学校 5・6 年生の児童(以下「小学校高学年」)を対象に、市独自に雇用した専門性を有する教職員が教科指導を行うことにより、授業の質を向上させ児童の学習意欲をより高める。併せて小学校高学年を担当する教職員の働き方改革を進める。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内小学校に、理科、音楽、図画工作の専門性を有する教職員(市費負担教職員)を配置し、高学年の授業を担当。(理科9名、音楽4名、図画工作4名)</li> <li>・小学校高学年から教科担任を導入することで中学校へのつなぎをなだらかにする。</li> </ul>						
課題・対応方向	・令和6年度で事業5年目にあたり、10人の任期付職員が退職となる。指導力のある新規職員を採用することが課題である。早期から募集を行い、質を担保した人員を確保したい。						
外部からの意見	・専門性を生かした授業実践で個別最適な学びが実現し、学力向上へと繋がっている。(守谷中学校区住民)						
担当課	教育指導課						
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況	
授業を肯定的に捉えている児童の割合	77.6%	80.5%	92.8%	93%	85%	A	

事業名	1-1-4 学校図書館を活用した読書活動の推進	決算額	31,879(30,793)				
目的	令和元年度から実施されている学校教育改革プランに基づく「中央図書館との連携による学校図書館の充実」を図るため、読書センター・学習センター・情報センターとしての機能充実に対する支援を行う。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体貸出(2,365冊)や学校間相互協力(160冊)を促進した。団体貸出においては、令和4年度実績の1,976冊から約400冊増加した。</li> <li>・図書館職員により、年間35回ブックトークを実施した。令和4年度実績の24回から増加した。</li> <li>・学校司書の技術向上のため外部講師を招き、蔵書管理(除籍)について研修を実施した。また、企業が開催するブックフェアに参加し、実際に図書の現物を手に取り内容を確認することでより良い選書に繋がった。</li> <li>・学校図書館資料の充実を図るため、充足率を考慮した資料費の配分を実施し、学校図書館図書標準の達成学校数が、11校となった。</li> </ul>						
課題・対応方向	団体貸出や、ブックトークの依頼が前年度より上回り、学校への周知が浸透してきた結果がでている反面、依頼の少ない学校もある。今後は、教職員の異動等への対応として、学校図書館の取組みや情報等の説明など、継続した周知を図る						

	ていく。						
外部からの意見	・読書活動推進を念頭に、利用しやすい環境作りを心がけ、児童に寄り添った対応を継続していきたい。(教職員)						
担当課	中央図書館						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	学校図書館の年間貸出冊数	187,897	197,013	292,380	250,000	200,000	A
	学校図書館図書標準の達成学校数	8校	9校	11校	11校	13校	B

事業名	1-1-5 サタデー学習支援教室の実施	決算額	822(0)				
目的	小学校4年生から6年生までの希望する児童を対象に、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図ること及び学習に興味関心を高める						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サタデー学習支援教室指導員が指導にあたった。</li> <li>・令和5年度は10月から実施。40人の児童が参加。</li> </ul>						
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で上半期は実施することができなかった。</li> <li>・9月からの募集だったためすでに予定が入っている家庭が多く、参加人数が少なかった。次年度は夏休みに開催し、夏休みの宿題などのフォローをすることで児童の意欲を高められるようにする。</li> </ul>						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習習慣が身に付き、基礎学力が向上した。(サタデー利用者)</li> <li>・家庭での自主学習の時間が増えた。(サタデー利用者)</li> </ul>						
担当課	教育指導課						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	サタデー教室に参加して、勉強する時間が増えた児童の割合	未実施	未実施	24%	25%	50%	D

## (2) 豊かな心を育む教育の推進

単位:千円(前年度)

事業名	1-2-1 特別支援教育の推進	決算額	1,799(86)				
目的	教職員の特別支援教育に関する専門性を高め、特別な教育的支援を必要とする幼児、児童及び生徒が早期からの一貫した教育支援を受けることで、本人の持つ能力を発揮できるようにする。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒に適切な支援が行えるように、専門的な知見を生かすため、教育支援委員会を年4回実施。(審議件数 未就学児:51件 在籍児童生徒:82件)</li> <li>・全小・中学校への訪問による特別支援教育に関する研修(年間各校1回以上)</li> <li>・特別支援教育担当者会議の開催(年1回)</li> <li>・守谷市教育支援委員会の開催(年4回 9月、10月、11月、12月)</li> <li>・保育所、幼稚園訪問(年間2回以上)</li> <li>・こども療育教室、守谷市総合教育支援センターとの定期的な情報交換</li> <li>・保健センター、児童福祉課、社会福祉課との連携(随時)</li> <li>・保幼小中高一貫教育の推進(随時)</li> </ul>						
課題・対応方向	・教育支援委員会では、133件(未就学児:51件 在籍児童生徒:82件)の審議が行われた。件数の増加を受けて、次年度は5回の実施を計画している。						

	・「発達性読み書き障害」に係る研修、LITALICO 教育ソフトの導入により、今後、特別支援教育担当者の専門性の向上を図っていく。						
外部からの意見	・配慮が必要な子ども達は増えている。そうした児童生徒への学習指導の仕方や接し方などについて、教員は適切な研修を行い、一層学んでほしい。(愛宕中学校区住民)						
担当課	教育指導課						
	<b>成果指標</b>	<b>R2(基準値)</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6(見込)</b>	<b>目標値</b>	<b>達成状況</b>
	教職員の研修実施回数(校内研修、訪問含む)	5回/校	5回/校	5回/校	6回/校	5回/校	A
	市内保育所・幼稚園訪問回数	55回	60回	104回	95回	60回	A

事業名	1-2-2 いじめ防止対策の推進及び不登校対策の実施	決算額	3,214(0)				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの未然防止及び早期発見に努めるとともに、いじめが起きてしまった場合は迅速に対応し、再発の防止に取り組める体制を整備する。</li> <li>不登校の未然防止及び早期対応に努め、「社会的自立」を目指し、不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のための相談・指導(学習指導も含む)を行うことにより、その社会的自立を支援していく。</li> </ul>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>2件のいじめ重大事態について第三者調査委員会を設置し、事実確認を行った。</li> <li>いじめ問題重大事態調査委員会 全6回実施、ヒアリング全21回実施</li> <li>適応指導教室「はばたき」・校内フリースペース13校中8校の設置</li> <li>市内に1人のスクールソーシャルワーカーを配置。</li> </ul>						
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度は小学校142件、中学校33件、合計175件のいじめを認知し、101件解消。解消率57.7%であった。県平均が81%から見ると解消率の低さが課題である。令和6年度にはいじめ対策相談員を1名、スクールソーシャルワーカーを3名増員し、毎月はいじめ対策会議に外部の専門家を入れることで適切な認知、早期対応に努めていきたい。</li> </ul>						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめる側にも家庭内のストレスや誤解がある。粘り強く指導してほしい。(守谷中学校区住民)</li> <li>先生達が気付いていじめを防止したなどの良い対応事例も、先生方で共有すると良い。(けやき台中学校区住民)</li> </ul>						
担当課	教育指導課						
	<b>成果指標</b>	<b>R2(基準値)</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6(見込)</b>	<b>目標値</b>	<b>達成状況</b>
	いじめの解消率	88.00%	60.4%	57.7%	60%	75.00%	C
	不登校児童生徒出現率(30日以上欠席)	2.10%	3.80%	3.44%	3.5%	3.50%	A

事業名	1-2-3 情報モラル教育の推進	決算額	-			
目的	教職員が情報モラルについて研修し、児童生徒に情報モラル教育を行うことで、児童生徒が情報を適切に活用できる力を身に付け、情報を収集したり、発信したりする力を育む。					

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員に対しての ICT 支援員による情報モラル研修の実施</li> <li>・児童生徒に対しての情報モラルに関する授業の実施</li> </ul>						
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や校務における事例をもとにした教職員研修を実施する。</li> <li>・情報活用能力の1つとして、情報モラル教育の計画的な取組を実践するための環境を整備する。</li> </ul>						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒のデジタル活用能力の向上が著しい。今後も有効な活用を進め、一人一人の情報活用能力を伸ばすとともに、安全な使い方、自律的な使い手を育成してほしい。(愛宕中学校区住民)</li> <li>・児童がタブレット端末を上手に活用している。今後も学習に効果を上げる活用をしてほしい。あわせて、「書く」ということも重要なので、ノート指導の充実も図ってほしい。(御所ヶ丘中学校区住民)</li> </ul>						
担当課	教育指導課						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	ICT 機器(スマートフォンや PC)の使い方について、約束したことを守っている。(全国学力学習状況調査児童質問用紙)	実施せず	75.9%	95.7%	97%	100%	B
	ICT 機器(スマートフォンや PC)の使い方について、約束したことを守っている。(全国学力学習状況調査生徒質問用紙)	実施せず	68.6%	97.3%	97%	100%	B

### (3) 健康と体力を育む教育の推進

単位:千円(前年度)

事業名	1-3-1 ゆう遊タイムの活用など子どもの体力向上の推進	決算額	639(522)				
目的	体育の授業を基盤として、体を動かすことが好きになる児童生徒を育成し、集団での外遊びを推奨することで、友達と体を動かす喜びを味わい、体力の向上を図る。						
事業内容	・各校で週1回、ロング昼休み(遊々タイム)を設定し、集団で外遊びをする時間を確保している。						
課題・対応方向	令和5年度スポーツテスト総合評価 A、B の取得率が県と比べて、小学校で-0.2%、中学校で+2.9%となっている。小学校での体力向上が課題である。引き続き、ゆう遊タイムを奨励し外遊びを活発にすることで体力の向上に努めたい。						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外遊びを取り入れた体力、気力の錬磨に期待している。熱中症対策もしっかりとなされている。今後も継続してほしい。(守谷中学校区)</li> <li>・コロナ禍で児童の体力が落ちていることが懸念される。外で体を動かす活動を増やしてほしい。(御所ヶ丘中学校区住民)</li> </ul>						
担当課	教育指導課、学校教育課						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	体力テストで総合評価A、Bを取得できた児童の割合	中止	45.7%	46.2%	47%	60%	B
	体力テストで総合評価A、Bを取得できた生徒の割合	中止	54.8%	56.2%	57%	60%	B

事業名	1-3-2 正しい食生活の理解や望ましい習慣の推進	決算額	614,801(601,671)				
目的	・給食指導及び保健体育、学級活動の授業を通して、正しい食生活の習慣の定着を図る。						

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の重要性や栄養バランス、食文化等についての理解を図り、健康で健全な食生活に関する知識や技能を身に付けることができるようにする。</li> </ul>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食育月間(6月)に、食育に関する授業の実践、家庭との連携</li> <li>・栄養教諭による食育授業の実施</li> <li>・生きた食材となる給食の提供(地場産物に係る食に関する指導等)</li> <li>・給食センターの見学受入</li> <li>・給食だより又はホームページでのレシピ紹介</li> </ul>						
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養教諭による給食指導など巡回型で行ってきた。食物アレルギーなどについても指導が必要である。栄養教諭と養護教諭が連携し、アレルギー指導やエビペン研修を行っていきたい。</li> <li>・朝食の欠食率が、若い世代を中心に未だ高い水準にあることから、正しい食習慣や生活のリズムを身に付けていくよう、引き続き取り組む必要がある。</li> <li>・食生活の基本は子どもの時期に形作られることから、日常生活の基盤である家庭で子どもへの食育を着実に推進していくことが重要な課題であるため、給食だより、広報紙等を通じて周知していく。</li> <li>・地域の食材を活用した郷土料理や伝統食など、食文化の素晴らしさを再認識するために、給食献立に取り入れ、次世代に継承する取組を進める。</li> <li>・食育推進を図る上で、新鮮で安全安心な農産物の確保、また生産者との交流促進に取り組む必要があるため、生産者の皆さんの声に傾聴し、地場産物を給食に取り入れるとともに、食育動画を作成し、地場産物の紹介を行う。</li> </ul>						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な体づくりには、毎日の食生活がいかに大切なのか、養護教諭や栄養教諭から朝食の大切さについて指導し、喫食割合を100%にしてほしい。</li> <li>・朝食を食べる生徒は100%になってほしい。これには学校だけでなく家庭の協力が必要である(けやき台中学校区住民)</li> <li>・給食費の無償化について要望がある。(守谷市議)</li> <li>・地場産物の利用について要望がある。(農家)</li> <li>・ミネラルの取れる給食の要望。(保護者)</li> </ul>						
担当課	教育指導課、給食センター						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	学校健診で所見のあった児童生徒の割合	11.9%	12.2%	10.9%	10%	10%	B
	朝食を毎日食べている児童の割合(全国学力学習状況調査児童質問用紙)	97.4%	94.7%	96.3%	97%	98.0%	B

**(4) グローバル社会で活躍できる人材を育成するための教育の推進** 単位:千円(前年度)

事業名	1-4-1 ALT活用による外国語教育の推進	決算額	108,001(98,937)
目的	外国語教育推進事業におけるALT(外国人指導助手)の全校配置に加え、昨年度から導入した英語ネイティブスピーカーによる講師と生徒が1対1で英会話をオンラインで行うことにより、新学習指導要領で重視される4技能(「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」)の育成を更に充実させる。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校低学年において、教育課程特例校申請を行い「英語活動」を設置</li> <li>・ALTの全校配置 19名(大規模校及び中学校 2名配置)</li> </ul>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン英会話の実施 小学校5年生～中学校第3学年 約1,930名</li> <li>・小学校第5学年 年間3時間 第6学年 年間3時間</li> <li>中学校第1学年 年間4時間 第2学年 年間6時間 第3学年 年間5時間</li> </ul>						
課題・対応方向	学級閉鎖等、突発的な変更でオンライン英会話授業の振替を行わなければならないことが複数回起こった。再予約を取るのに苦労したことが課題である。オンライン契約の仕様書にも臨時の対応について記入することで課題の解消に努める。						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT やオンライン英会話など、外国語や異文化に直接触れる学習が充実している。(けやき台中学校区住民)</li> <li>・オンライン英会話は、インターネットが普及した現代ならではの活動で、外国の人と関わる貴重な機会でもあり、これからも続けてほしい。(けやき台中学校区住民)</li> </ul>						
担当課	教育指導課						
	<b>成果指標</b>	<b>R2(基準値)</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6(見込)</b>	<b>目標値</b>	<b>達成状況</b>
	外国語が話せるようになりたいと思う児童の割合	93%	95.0%	90.0%	92%	95.0%	B
	英検3級以上を取得した中学3年生の割合	47.9%	56.2%	57.6%	58%	60.0%	B

事業名	1-4-2 ICTを活用した教育の推進	決算額	—				
目的	ICT 機器を効果的に活用して、児童生徒が主体的、探究的な学びができるようにするとともに、一人ひとりに個別最適化された学びを実現する。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問での指導・助言による「守谷型ラーニングスタイル」の推進 計画訪問(年1回) 要請訪問(随時)</li> <li>・情報教育推進委員会の実施(年4回)</li> <li>・ICT支援員と連携を図り、年間を通じて教職員によるICT機器の有効活用に向けたサポートや教職員の資質向上を図るための研修</li> </ul>						
課題・対応方向	ICT を活用した授業展開ができる教師の指導力に格差がみられる。情報活用能力体系表をもとに、どの職員も同程度の指導ができるようにする。						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々タブレットの使い方が上達している。学習者用デジタル教科書が導入されていない教科については画像を活用できるようにすると良い。(御所ヶ丘中学校区住民)</li> <li>・ICT教育やプログラミング教育も今後より望まれると思う。(愛宕中学校区住民)</li> </ul>						
担当課	教育指導課						
	<b>成果指標</b>	<b>R2(基準値)</b>	<b>R4</b>	<b>R5</b>	<b>R6(見込)</b>	<b>目標値</b>	<b>達成状況</b>
	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか。週3日以上の割合(全国学テ質問用紙)	85.9%	78.9%	82.2%	85%	90%	B
	中学校1・2年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか。週3日以上の割合(全国学テ質問用紙)	43.6%	44.5%	92%	90%	70%	A

事業名	1-4-3 キャリア教育の推進	決算額	106(0)				
目的	一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通						

	して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校社会体験事業 消費費：中学校 4 校 100 円×660 人×1.10</li> <li>賠償責任保険 250 円×660 人</li> <li>・「キャリア教育指導計画」の作成、見直し</li> <li>・キャリア教育を意識した授業の実践</li> </ul>						
課題・対応方向	キャリア教育に関する体験活動（職場体験等）を、地域・関係機関の協力を仰ぎながら企画し、着実に実施していく。						
外部からの意見	・職場体験が実施できたことは、進路・職業選択に大きく役立つことと考える。今後も行政や地域を含めた関係者の協力を得ながら、充実させてほしい。（守谷中学校区住民）						
担当課	教育指導課						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	将来の夢や目標を持っている割合(中学3年 全国学テ質問用紙)	65.4%	62.4%	84.6%	85%	70.0%	A

### (5) 地域とともにある学校づくり

単位：千円(前年度)

事業名	1-5-1 地域と連携した学校運営と教育活動の推進	決算額	13(16)
目的	<p>学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」と、学校と地域が相互にパートナーとして地域の活性化に取り組む「地域学校協働活動」の一体的な実施を推進し、保護者、地域、学校、行政が一体となって子どもたちの成長を支える。</p> <p>※学校に「学校運営協議会」を設置、地域に「地域学校協働本部」を整備する。</p>		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル校区（御所ヶ丘中学校区）における、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」の試行導入を通して、地域住民等と学校との連携体制や協議会組織の在り方について検証した。</li> <li>・学校及び教育委員会職員に向けた研修会を開催し、先行事例から地域とのつながり（地域とともにある学校づくり）の大切さを学んだ。</li> <li>・学校運営協議会制度及び委員に関する条例・規則を整備し、モデル校区において、令和 6 年度以降の本格導入に向けた準備を行った。</li> <li>・北守谷地区・大井沢地区まちづくり協議会を中心に、御所ヶ丘中学校区で、地域防災、キャリア教育などをテーマに「地域学校協働活動」に取り組んだ。</li> </ul>		
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域の橋渡し役となる地域コーディネーター（地域協働活動推進員）の選任が進んでいない。</li> <li>・まちづくり協議会はもとより、PTA にも働きかけ、地域コーディネーターの担い手を確保し育成する。</li> </ul>		
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールの取組について、住民と行政が考える「コミュニティ」に多少乖離が生じているのではないかと思う。（御所ヶ丘中学校区住民）</li> <li>・若い世代が関われる仕掛けをお願いしたい。（御所ヶ丘中学校区住民）</li> <li>・取組に関して広報紙等で情報発信することが必要だと思う。地域の人が目にしたときに、「自分にもできそう」と思ってくれる仕掛けが必要だと思う。（愛宕中学校区住民）</li> </ul>		

担当課	生涯学習課、教育指導課					
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
コミュニティ・スクール設置数	0校区	0校区	0校区	2校区	4校区	D
地域学校協働本部設立数	0校区	0校区	1校区	2校区	4校区	D

事業名	1-5-2 教育活動における地域人材の有効活用	決算額	25(3)			
目的	未来を担う子どもたちの豊かな学びを支えていくため、学校・家庭・地域が連携し、互いに協力しながら、地域で子どもたちの健やかな成長を支援する。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の求めに応じて、もりやコミュニティ・スクールボランティアバンク登録者(以下、「CS ボランティア」という。)につなぎ、学校活動において地域人材を活用した。</li> <li>CS ボランティアの拡大を図るため、既存の学校支援団体、PTA 主体のボランティア組織に声掛けをし、個人のみならず、団体登録を促した。</li> <li>授業補助、学校行事のサポートのほか、環境整備、登下校の見守りなど多種多様な用途で地域住民が活躍した。</li> </ul>					
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により制限されてきた学校活動が再開し、地域人材による学校支援が増加したが、学校ごとにバラつきがある。</li> <li>学校が求める支援や時間帯と、CS ボランティアの都合がマッチングせず、活用できない場合がある。</li> <li>できるだけ多くの地域住民に、教育活動の状況や児童生徒の様子を知ってもらう機会をつくり、学校理解を深めてもらい、もりやコミュニティ・スクールボランティアバンク登録者の更なる増加につなげる。</li> </ul>					
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちとボランティアの方々が顔見知りになり、安心感をもって安全に登校することができている。(保護者)</li> <li>子どもたちに顔を覚えてもらって、「〇〇さん、こんにちは。」と名前を呼んで挨拶をしてくれる。とてもうれしい。(地域ボランティア)</li> <li>教職員だけでは困難な作業を快く対応してくれた。大変助かっている。(教職員)</li> </ul>					
担当課	生涯学習課					
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
地域の人で学校活動に関わった人数(年間)	未実施	770人	1,429人	1,800人	3,000人	D
もりやコミュニティ・スクールボランティアバンク登録者数(個人・実人数)	未実施	70人	89人	100人	120人	C

## (6) 学びを支える環境づくり

単位：千円(前年度)

事業名	1-6-1 教職員のICT活用能力及び資質能力の向上	決算額	小 126,507(125,386) 中 63,358 (54,458)			
目的	ICT教育環境を有効活用するために、教職員のICT機器等に関する活用能力向上及び授業改善を図る。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを効果的に活用できるための環境整備</li> <li>ICT支援員の配置(6名)</li> <li>ICT支援員と連携を図り、年間を通じて教職員のICT機器の有効活用に向けたサポートや教職員の資質向上を図るための研修</li> </ul>					

課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用指導力調査で研修が必要と回答している教員に対し、研修内容が増加しており、研修時間や回数が増加していることが課題のため、対面研修だけでなくオンデマンド研修を取り入れていく。</li> <li>令和6年度には、守谷市新規教員対象だけでなく、研修が必要と感じた教員まで対象を拡大して研修を実施する。</li> </ul>						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器の効果的な活用を引き続き継続してほしい。また、家庭学習や個別の補充指導においてもアプリケーション等を積極的に活用し、基礎学力の確実な定着を目指してほしい。(愛宕中学校区住民)</li> </ul>						
担当課	教育指導課						
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況	
ICT機器を教材研究・授業の準備・評価・校務などに活用することができる(教員のICT活用指導力調査)	実施せず	89.9%	97.6%	98%	100%	B	
児童生徒のICT活用を指導することができる(教員のICT活用指導力調査)	実施せず	79.4%	97.2%	99%	100%	B	

事業名	1-6-2 学校における働き方改革の推進	決算額	2,642(2,414)			
目的	教職員のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子どもたちに効果的な教育活動を行えるようにする。					
事業内容	<p>守谷型カリキュラム・マネジメントの徹底やICTを最大限に活用した学校活動、SSS(スクールサポートスタッフ)などによる教員支援を通して、教職員の働き方改革を促すとともに、スクールロイヤー制度や学校産業医配置、メンタルヘルス対策等を行い、心身両面から労働環境の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールロイヤー制度の継続実施(学校教育課):相談件数16回(9件)</li> <li>・教職員対象ストレスチェックの継続実施(学校教育課):受検率93%(350名)</li> <li>・学校産業医配置(学校教育課):配置校2校(守谷小・黒内小)</li> <li>・ハラスメント対策委員会設置:相談件数0件</li> </ul>					
課題・対応方向	<p>小学校での働き方改革は進んでいるが、中学校での超過勤務時間が依然として長い状況である。地域部活動に移行することで目標値に近づくと考える。教員が心身の両面で負担軽減されることで、子どもの最善の利益につながることから、今後一層の守谷型カリ・マネの推進とともに、問題の未然防止等が可能となるようスクールロイヤーの活用など、労働環境の充実を進めていく。</p>					
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のサポーターを活用し、職員の健康第一を考えてほしい(御所ヶ丘中学校区住民)</li> </ul>					
担当課	教育指導課、学校教育課					
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
小学校教職員の超過在校等時間月45時間以内の割合	67.5%	77.5%	85%	87%	100%	B
中学校教職員の超過在校等時間月45時間以内の割合	42.2%	40.0%	56%	58%	80%	C

事業名	1-6-3 学校施設等の教育環境の整備	決算額	1,095,113(1,607,371)				
目的	児童生徒の学習及び生活の場として安全・安心できる環境を確保するとともに、時代に 応じた教育が可能となる教育環境を整備する。						
事業内容	現状の劣化度から学校施設長寿命化計画の見直しを進めながら、校舎及び屋 内運動場の改修工事や突発修繕、必要な備品購入等に対応した。 ・御所ヶ丘中学校校舎改修工事(第1工区完了) ・御所ヶ丘小学校屋内運動場改修工事 ・屋内運動場照明器具 LED 化工事(高野小・松前台小・守谷中・けやき台中) ・けやき台中学校校舎改修工事(実施設計及び仮設校舎リース手続き) ・小学校遊具改修事業(大井沢小・高野小・郷州小・松前台小) ・令和5年度年間突発修繕件数:小学校215件、中学校90件(直営対応等含む)						
課題・ 対応方向	側溝や軒樋、草地や樹木管理など、定期的な更新・清掃等により不具合を回避で きる箇所もあるが、対応しきれず突発対応につながっているケースも想定される。施 設・設備状況を全体的に把握し、財政部署と情報共有しながら、故障等の未然防止 に努めていく。						
外部から の意見	・明るく使いやすい体育館になった。(児童) ・敷地内樹木の剪定により、日当たりが良くなって有り難い。(近隣住民)						
担当課	学校教育課						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	学校施設の老朽化対策として長寿命化計 画に基づき改修工事に着手した学校施設 の割合	33.3%	57.1%	64.3%	78.6%	100%	C
	学校施設の修繕要望に対する対応率	90.7%	86.9%	82.6%	95%	95%	B

事業名	1-6-4 部活動指導員配置の推進	決算額	46,986(7,870)				
目的	中学生のスポーツ、文化、科学等に係る技術の向上につなげるとともに、教職員の負担 軽減につなげるため、部活動指導員の配置を推進し、休日の部活動の運営を地域団体等 に段階的に移行する。						
事業内容	・主に平日の部活動(学校管理下)に部活動指導員を配置した。 ・休日の指導及び練習試合・大会等の引率を担う指導者を市スポーツ協会が管理 し、育成・活用することで教職員の負担軽減につなげた。						
課題・ 対応方向	・国が推進する「部活動地域移行」の実現に向けて、休日の指導及び練習試合・ 大会等の引率を担うことができる地域指導者を配置する必要がある。 ・部活動指導員の活動範囲が、学校管理下(学校長の監督及び顧問の指示を受 けること)における活動であるため、できる限り早期に、市スポーツ協会が管理す る地域指導者に移行を促すことで、役割や活動範囲を広げ、さらなる教職員の負 担軽減(働き方改革)につなげる。						
外部から の意見	・部活動指導員と地域指導者の役割の違いを分かりやすく示してほしい。活動す るときに混乱する。(平日・休日とも活動に携わる地域指導者) ・主になって指導することは難しい。自分には、先生の指導を補助する役割が合っ ている。(部活動指導員)						
担当課	生涯学習課						

成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
部活動指導員の配置人数	10人	12人	14人	17人	20人	C
休日の部活動を地域移行した割合	未実施	6%	23.1%	38.5%	100%	D

事業名	1-6-5 交通安全意識の向上及び交通安全施設等の整備		決算額	10,355(10,445)		
目的	登下校時の安全確保や不審者対策、発災時対応の確立等を通して、学校の危機管理体制の強化を図る。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内 17 か所に通学補助員 25 名を配置し、立哨指導により通学の安全を確保。</li> <li>・取手警察署と連携し、通学補助員対象の交通安全講習会を実施(3月5日)。</li> <li>・県及び市関係各所との合同安全点検を実施し、対象 13 か所のうち 11 件対応済みのほか、令和 6 年度中に残りの 2 件対応予定。</li> <li>・各校の立哨ボランティア把握調査を実施し、学校とボランティアとの協力体制強化を図った。</li> <li>・110 番通報の家制度に市内コンビニエンスストア 21 件を追加した。</li> </ul>					
課題・対応方向	取手警察等の関係各所との連携を強化し、合同安全点検や通学補助員対象講習会を継続するほか、地域との協力体制による防犯防災対策についても検討し、児童生徒の更なる安全確保を図っていく。					
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車の通り抜けが多く、学校の協力や通学補助員の増員について検討してほしい(立哨ボランティア)</li> <li>・電灯が少なく、交通量の多い箇所もあって今後の通学が不安。(保護者)</li> </ul>					
担当課	学校教育課					
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
合同安全点検での指摘危険箇所対応率	70.0%	76.2%	84.6%	90%	90%	B
講習会が役に立ったと回答した通学補助員の割合	—	80%	90%	100%	100%	B



## ◇教育改革の推進に対する点検評価委員の意見

### (1) 確かな学力の推進

- ・タブレットも有効に活用し、児童生徒の学力定着が図られている。
- ・「守谷型カリキュラム・マネジメント」に基づく様々な施策が、学力向上や児童生徒の満足度等の数字となって示されている。
- ・「守谷型カリキュラム・マネジメントの継続」について  
児童生徒の学力の向上と教職員の働き方改革という困難な二つの課題に対し、真正面から取り組み、着実に成果を上げている守谷型カリキュラム・マネジメントは、完成期、円熟期に入っているように感じる。全国的に見ても先進的な取組として、更に良いものにしてほしい。
- ・「学習支援ティーチャーの配置」、「市費負担教科担任の配置」についてこれも守谷市独自の取組であると思う。配慮を要する児童には、複数の教職員で児童を支援すること、高学年の児童には、専門的な指導をしていくことができている、不登校の未然防止や学ぶ意欲の向上等、十分な成果が上がっている。

### (2) 豊かな心を育む教育の推進

- ・フリースペースが有効的に活用されており、児童生徒の居場所となっていることは大変に良いことだと思う。不登校対策として効果を上げていることも素晴らしい。小学校全部に配置されることが望ましい。
- ・「いじめ防止対策」として授業の中でも取り組むことはとても良いと思う
- ・「いじめの防止対策の推進及び不登校対策の実施」について  
いじめの解消率が上がっていない。いじめは一度起きてしまうと完全な解決は難しいのが最近の傾向なので、引き続き未然防止に取り組んでほしい。
- ・特別支援教育への支援を強化することは、すべての児童生徒が平等に教育を受けるための基盤であり、特別支援教育の人的資源やサポートを増やすよう設計されていると感じた。
- ・いじめ防止対策について、住民の方から「いじめる側にも家庭内のストレスや誤解がある」との意見があるが、同感である。もちろん、「される側」のケアは充分に行われることを前提として、「する側」の心理的背景を理解した上での心の支援、教育・啓発、家庭との連携を望みたい。

### (3) 健康と体力を育む教育の推進

- ・学校給食センターでは、食物アレルギーにも細部にわたって対応している。今年度からは、守谷市総合教育支援センターにも給食が提供されており隅々まで配慮がなされている。
- ・集団での外遊びの推奨やロング昼休みの設定は、体力の向上だけでなく、コミュニケーション能力の育成や情操教育につながると思うので、熱中症やコロナウイルス感染症などの心配もあるが、継続して取り組んでほしい。

#### (4) グローバル社会で活躍できる人材を育成するための教育の推進

- ・英検 3 級以上の取得者が 57.6%で平均より 28.4%も高いことは驚きである。将来、グローバルな活躍をする人材となっていくことが期待される。
- ・守谷市の中学生の英語力が高いレベルである。コミュニケーションツールとして、英語は必須だと思うので、継続して英語教育の充実に取り組んでほしい。

#### (5) 地域とともにある学校づくり

- ・コミュニティ・スクールの推進が図られており、学校と地域がお互いに協力して児童生徒の育成に関わっていくことは素晴らしいことと思う。
- ・コミュニティ・スクールについては、どの市町村もコーディネーターの選任の段階から苦勞している。モデル事業の御所ヶ丘中学校区のように、もともとある、まちづくり協議会等とタッグを組むことで、良い方向に行くのではないかと感じた。

#### (6) 学びを支える環境づくり

- ・中学校部活動の地域移行については、どの市町村も苦勞しているところだが、守谷市の場合は生涯学習課が中心になって取り組んでいること、スポーツ協会も力があることから、子どもたちにとっても、地域のスポーツ振興にとっても、良い方向に進むのではと期待している。
- ・学校が継続的に改修されて、学習環境が整えられていることはとても良いと思う。温暖化で暑い日々が心配されるところ、屋内運動場に空調設備が整えられていることも素晴らしい。
- ・教職員の働き方改革を進めることで、教職員のモチベーションアップや健康維持が保たれる。先生方が元気で楽しければ学校環境は良くなる。守谷市は教職員へのサポートが充実している。
- ・部活動への部活動指導員の配置は、特に中学校の教職員の働き方改革に大きな効果をもたらす取組だ。外部からの意見のように課題はあるようなので、「部活動地域移行」を急かさず、指導者・生徒・教職員間の合意を取りながら進めていってほしい。

## 2 生涯学習の推進

### (1) 自主的な学習活動の支援と機会・場の提供

単位：千円(前年度)

事業名	2-1-1 学習機会と交流の場の提供	決算額	137,540(141,148)				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が健康で心豊かな生活を送り、生きがいづくりや生活に必要な知識、技術を習得するだけでなく、地域課題や社会的課題の解決につなげるため、各公民館で幅広い分野の講座を実施する。</li> <li>・生涯学習に関連するサークル・団体の自主的な活動を継続するため、支援を行う。</li> </ul>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶことへの気付きや楽しさ、市民の交流の場を提供するため、公民館運営協力員の意見を取り入れた講座・イベント等を提供した。</li> <li>・コロナ禍に実施できなかった人気講座を復活・増設し、同じ趣味・志向を持つ市民相互の交流と仲間づくりの場を提供した。</li> <li>・趣味・教養に関する公民館講座のほか、家庭教育、人権教育に関する講座・講演会など、ライフステージに必要な学習の場を提供した。</li> </ul>						
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館等の定期使用団体の声は届くが、施設を使用しない層の声や意見等を聴取し、運営の参考にする必要がある。</li> <li>・公共施設予約システムのアンケート機能を活用したり、地域住民が訪れる機会を設けながら、できるだけ多くの声を施設運営に取り入れ、サービス向上を図る。</li> <li>・指定管理者制度導入から10年を機に、更なる制度活用を図るため、指定管理者の自主事業による利益創出を見込んだ提案を求め、指定管理料の削減を目指す。</li> </ul>						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館まつりのとき、各サークルの入会等の手続きパンフレットがあると良い。(北守谷公民館利用者)</li> <li>・講座参加してとても良かったです。その後のクラブ紹介をしてほしかった。(中央公民館利用者)</li> <li>・卓球台が古くなっている。新調してほしい。(郷州・高野・北守谷公民館利用者)</li> <li>・ネットで予約できるのが便利(高野公民館利用者)</li> <li>・利用申し込み、変更等、高齢者にはなかなか難しい。(中央公民館利用者)</li> <li>・館内で軽食がとれるスペースがほしい。(高野公民館利用者)</li> <li>・親としての関わり方を考えさせられました。勉強・スポーツ・時間の使い方が大事ということが強く印象に残りました。子どもにもできるようにしてほしいです。(家庭教育講座参加者)</li> <li>・物事を理解する(無知は差別を生む)・・・確かにそう思う。実行するためにはよく学ぶことが必要であると思いました。(人権啓発研修会参加者)</li> </ul>						
担当課	生涯学習課						
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況	
直近1年間で生涯学習に取り組んだ市民の割合	37.4%	36.5% (※)	38.6% (※)	40.0%	45.0%	B	
公民館が主催する講座実施回数(延回数)	48回	84回	98回	80回	80回	A	
公民館講座参加者の満足度	96.7%	96.8%	98.4%	98.0%	98.0%	A	
公民館平均稼働率	23.3%	37.1%	39.0%	40.0%	45.0%	B	

※公民館(中央・郷州・高野・北守谷)の市内在住者利用率を代用

事業名	2-1-2 学びと活動を支える人材の確保	決算額	0(0)				
目的	<p>市民の学習成果を発表する機会の提供に取り組むとともに、生涯学習で身に付けた知識・技能や経験を生かそうとする人と、支援を求めている人や場をつなげるコーディネートを行う。</p> <p>公民館の学習活動の企画や運営等に市民が参加し、意見交換や交流をすることで地域人材の活用を図る。</p>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア世代を中心に、豊かな知識や技能、経験等を生かし、地域で活躍してもらえよう、サークル活動体験事業やサークル・団体による成果発表の場を提供した。</li> <li>・生涯学習人材バンク（以下、「人材バンク」という。）登録更新と併せて、活用状況を確認し、最新情報を周知した。（市ホームページのほか、市政モニターを活用）</li> <li>・新たに人材バンク利用パンフレットを作成し、公民館等の公共施設で配布した。</li> </ul>						
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材バンク登録者、図書館ボランティア等が高齢化している。</li> <li>・公民館まつり等で、人材バンク登録者を活用した体験教室等を開催する。</li> <li>・新たな人材を養成するための講座等の開催に継続的に努める。</li> </ul>						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師の丁寧な指導に大変満足した。（おはなしボランティア養成講座生）</li> <li>・地域活動で講師を探すのに苦労している。個人でもメール等で簡単に講師に問い合わせができる仕組みがあると良い。（市民）</li> </ul>						
担当課	生涯学習課、中央図書館						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	生涯学習人材バンク登録者数	77人	51人	55人	60人	60人	B
	図書館ボランティア登録団体数	22団体	19団体	19団体	19団体	19団体	A

事業名	2-1-3 図書館サービスの充実	決算額	34,244 (32,464)				
目的	市民が必要とする図書や情報をいつでも容易に取得できるよう、資料の充実を図る。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書資料 11,778 冊、視聴覚資料 437 点、雑誌 319 タイトル、新聞 53 種、電子図書 217 タイトルを収集・提供するとともに、電子雑誌閲覧サービスの提供を継続した。</li> <li>・電子図書において、新たに児童書読み放題パックを購入・提供した。また、電子図書館閲覧数の増加のため、一般向けには電子図書館使い方講座の開催及び一般フロアにおいてサービス周知の POP 掲示、児童・生徒向けには、図書館新聞（児童・生徒のための図書館広報紙）を号外で発行した。昨年度と比較すると、電子図書館全体の閲覧数は、5,694 回から 6,570 回へ大幅に増加した。</li> <li>・ADEAC（デジタルアーカイブ）においては、『守谷現代史』、『守谷総鎮守八坂神社の祇園祭』、『社会科副読本』、『守谷市都市計画図』『1975 年町制 20 周年記念 守谷』を公開した。</li> </ul>						
課題・対応方向	公民館改修工事に伴う図書室の休室により、図書館資料の個人貸出資料点数が減少している。改修中に出来る限り図書館や他の図書室をご利用いただけるよう休館前に周知徹底する。						

外部からの意見	・電子図書館使い方講座に参加するまであまり利用したことがなかったが、講座で便利な機能などを教えてもらえてとても良かった。(講座にご参加いただいた市民)					
担当課	中央図書館					
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
図書館の貸出資料点数(個人全館合計)	856,382点	964,984点	934,207点	920,000点	1,000,000点	B

事業名	2-1-4 子どもの読書活動の推進	決算額	5,942(5,836)			
目的	生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するために、子ども一人ひとりの発達や読書経験に応じて、楽しむ、学ぶ、調べる等多様な目的に応じた幅広い読書活動の機会を提供する。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めての絵本との出会いを提供するブックスタートを、3・4か月児健康診査時に、年間24回実施し、479名の参加があった。</li> <li>幼児期の子どもに良書を届けるため、幼稚(保)園、保育所(園)に対し、年間11施設にブックパックの貸出を実施した。</li> <li>ボランティアと協働の下、中央図書館及び子育て支援施設等において、年間237回おはなし会を実施し、4,581名の参加があった。</li> <li>委託業務により、児童フロアへ育児コンシェルジュを配置し、読み聞かせや本の紹介・相談を925組に行った。</li> <li>委託業務により、読書応援タイム(育児コンシェルジュによる図書館託児)を年間33日実施し、374人の利用があった。</li> </ul>					
課題・対応方向	・おはなし会の開催施設数が大幅に増加した半面、団体貸出利用施設率が昨年度を下回った。今後もボランティアとの協働の下、子どもの読書活動を推進することに努める。					
外部からの意見	・おはなし会開催のため、図書館からおはなしボランティアを派遣してくれるので有難い(市内幼稚園職員)					
担当課	中央図書館					
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
おはなし会の開催施設数	5施設	8施設	19施設	20施設	20施設	B
団体貸出利用施設率	23%	37%	26%	35%	50%	C

事業名	2-1-5 計画的な生涯学習関連施設の整備	決算額	183,268(5,995)			
目的	生涯学習関連施設の管理や整備、有効活用など、市民が安全に学習活動を行うことができる環境を提供する。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷州公民館大規模改修工事(令和5～6年度継続)</li> <li>北守谷公民館改修工事实施設計(工事施工:令和6～7年度)</li> <li>中央図書館大規模改修工事基本設計・実施設計業務に係るプロポーザル(事業者選定)(工事施工:令和7～8年度)</li> </ul> ※高野公民館:令和8年度 実施設計、令和9～10年度 工事施工(予定)					
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズに配慮した安全で快適な施設の整備を進める必要がある。</li> <li>中央図書館大規模改修工事に向けて、市民の意見を基本設計に反映させるた</li> </ul>					

	め、ワークショップ等を実施する。 ・公民館改修工事に当たっては、利用者の活動状況に配慮した設備、備品の整備に努める。						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・録音機器・設備の整った場所があると良い。(音訳、朗読ボランティア)</li> <li>・多目的ホールの音響設備が古すぎる。改装時新しくしてほしい。(北守谷公民館利用者)</li> <li>・ホールがとてもきれい。音楽コンサートが楽しみです。(中央公民館利用者)</li> <li>・駐車場の混雑が緩和されて良かったです。(高野公民館利用者)</li> </ul>						
担当課	生涯学習課、中央図書館						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	大規模改修済の生涯学習施設の割合	20%	20%	20.0%	40.0%	80.0%	C

事業名	2-1-6 安心できる子どもの居場所提供	決算額	326,803(303,265)
目的	学校施設をはじめ、子どもたちにとって安心・安全な活動拠点を設け、地域の方々の協力を得て、「放課後子ども教室」と「放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)」を一体的に実施し、遊び、勉強やスポーツ・文化活動を通して交流を図る。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設を借用し、放課後児童クラブ(以下、「児童クラブ」という。)におけるコロナ禍に配慮した活動を継続した。</li> <li>・放課後子ども教室の再開に向けて、児童数増及び守谷型カリ・マネに対応するため、対象学年の制限、活動時間の変更等に対応できるよう規則改正を行った。</li> <li>・黒内小学校区の児童数増に対応するため、民設民営児童クラブの令和6年4月開所に向けて、公募型プロポーザル方式により補助対象事業者(2事業者・定員全81名)を選定し、開所までに必要な支援を行った。</li> </ul>		
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが小学校入学を機に共働き世帯が増える傾向にあるため、新1年生の入所希望者数を見積もることに苦慮している。毎年増加している校区については、前年度の利用割合より多めに見積もり、部屋の確保や支援員の増員を行う。</li> <li>・昨今、支援員の入替わりが多く見られるため、子どもと支援員の信頼関係を構築するためにも、常勤支援員を増やす必要がある。</li> <li>・放課後子ども教室の再開に当たっては、放課後の学校施設使用が必須であるため、学校の理解・協力を得て、円滑な事業実施に努める。</li> <li>・今後、策定を予定している小中学校の適正配置基本方針に注視し、必要な部屋数の確保等を行い、待機児童ゼロの継続に努める。</li> <li>・今後、児童クラブ専用棟の老朽化に伴う改修が必要になる。学校施設の改修と調整しながら、計画的に取り組む。</li> </ul>		
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外遊びや室内遊びの時間を増やしてほしい。(児童)</li> <li>・嫌なこともあるけど楽しいことの方がいっぱいあるから楽しみ。(児童)</li> <li>・先生の対応が良くてケガしたときやおなかが痛いときでも言いやすい。(児童)</li> <li>・楽しいけど、宿題や勉強をする時間を増やしてほしい。(児童)</li> <li>・タブレットが自由に使える時間がほしい。(児童)</li> <li>・欠席連絡に関して、学校からクラブに伝わるようにできないか。別々に両方連絡しなければならないのを改善してほしい。(保護者)</li> </ul>		

	・毎日楽しく過ごしているようです。いつも色々と気にかけていただき、ありがとうございます。(保護者)					
担当課	生涯学習課					
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
児童クラブの待機児童数	0人	0人	0人	0人	0人	A
放課後子どもプラン利用率 ※R3/R4は、子ども教室未実施	33.0%	29.7%	35.9%	35.0%	35.0%	A

## (2) スポーツを楽しむ環境づくり

単位:千円(前年度)

事業名	2-2-1 スポーツを気軽に楽しめる機会の創出	決算額	688(350)			
目的	子どもから高齢者まで、また、障がいのある人もない人も、これまでスポーツをしなかった人も、より多くの市民が日常的にスポーツを楽しむことができる機会・場を提供する。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で例年の事業ができない期間に既存事業の在り方を見直し、実施体制、実施手段や方法、必要性などの観点から事業の見直しを図り、事業のリニューアルを行った。</li> <li>・スポーツ月間(10月)に、「MORIYA リレーマラソン」(市スポーツ協会共催)のほか、「あそびバ! in 守谷」を開催し、運動・遊びを通して運動の基礎を学び、親子でボール遊びを楽しむイベントを開催したことで、比較的参加が少ない子育て世代(働き世代30歳代・40歳代)に運動体験の場を提供することができた。</li> <li>・学校体育館やグラウンドを学校教育に支障のない範囲で開放し、市民のスポーツ・レクリエーション活動及び体力づくりの場を提供した。</li> </ul>					
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動習慣を身に付けるためには、普段から積極的に歩くこと、家事で体を動かすことや仲間と意識してスポーツを楽しむこと等が挙げられているが、子育て世代(働き世代30歳代・40歳代)への働き掛けが難しい。</li> <li>・引き続き、運動遊びを通じて、楽しみながら自然と身体活動が行える取組を推進し、親子で参加できるイベント等の実施に取り組む。</li> <li>・茨城県が推進する「いばらき健康寿命日本一プロジェクト」と連携し、運動や健康づくりのための取組を行うことで、インセンティブを得ることができる仕組みの導入を検討する。</li> </ul>					
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが「ボール遊び」を楽しんでいると感じてくれた。親子でたくさん遊び、自分も運動不足を解消したい。(「あそびバ!」参加者)</li> <li>・毎夏、子どもたちの熱中症対策に苦労しています。体育館の空調を使用させてもらえれば、暑い最中の練習でも安心して指導できます。(スポーツ少年団指導者)</li> </ul>					
担当課	生涯学習課					
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
成人の週1回以上のスポーツ実施率	31.3%	59.7% (※1)	45.8% (※2)	50.0%	50.0%	B

※1 「スポーツによる地方創生官民連携プラットフォーム」実施アンケート調査より引用

※2 令和5年度スポーツ関係行事アンケート結果

事業名	2-2-2 子どものスポーツ活動の推進	決算額	2,084(3,107)				
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちの健やかな成長に向けて、スポーツによる青少年の健全育成を支援する。</li> <li>子どもが運動・遊び等を通じてスポーツに親しむ習慣や意欲を養い、体力の向上を図る機会を提供する。</li> </ul>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ少年団活動の周知や指導者の資質向上研修(年 1 回)を奨励し、活動を支援した。</li> <li>スポーツ少年団が守谷市の代表として出場する全国大会等の遠征費を助成し、活動を奨励した。</li> <li>正しい走り方を身に付ける「走り方教室」を開催し、子どもの体力・運動能力向上を図る機会を提供した。</li> </ul>						
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境が便利になったこと、遊ぶために必要な時間や遊べる場所が少なくなったこと等により、子どもたちの体力低下を招いており、子どもたちを成長させるために社会全体で見直しを行う必要がある。</li> <li>学校の授業だけでなく、行政や民間主催のスポーツイベントを通して、子どもたちがバリエーションに富んだ運動を体験し、スポーツの楽しさを実感することができるよう必要な情報発信を行う。</li> </ul>						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>チームのみんな、学校や市役所の皆さんが応援してくれて嬉しく思います。これからも頑張ります。(スポーツ少年団世界大会参加者)</li> <li>自分も走るのが得意ではなく、走り方を教えることができなかつたのですが、分かりやすく説明して下さったので助かりました。とても満足です。(走り方教室児童(小学1年生)保護者)</li> <li>本人が走ることに楽しいと感じるようになったようなので、参加させて良かったです。(走り方教室児童(小学2年生)保護者)</li> </ul>						
担当課	生涯学習課						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	スポーツ少年団の団員数	547人	477人	490人	500人	650人	C

事業名	2-2-3 スポーツにかめわる組織の育成と連携協働の推進	決算額	19,518(8,110)				
目的	<p>スポーツ推進を担う人材の発掘・育成・活用を進めるとともに、市スポーツ協会との連携・協働により、総合型地域スポーツクラブの創設を促進するなど、スポーツを取りまく様々な資源を有効に活用する。</p>						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進委員の指導により、学校行事、児童クラブ、自治会・町内会等に、だれもが気軽に楽しめるスポーツ(ボッチャ・モルック)を提供した。</li> <li>スポーツサポーターを募集し、主に、市スポーツ協会主催イベントで活用した。</li> <li>市スポーツ協会が、スポーツ振興施策を総合的に推進するためのパートナーとして成長できるよう、市職員1名を派遣し、組織の基盤整備及び運営体制の強化を図った。</li> </ul>						
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>市スポーツ協会が、収益事業による安定した自主財源の確保や、更なる運営基盤の強化が図れるよう、自立を促進し、支援を継続する。</li> <li>スポーツボランティアは、高校生世代の申し込みが増加している。年間を通じた参加を促進するため、定期的な情報発信を行う。ボランティア証明書を求められ</li> </ul>						

	るケースが多いため、即日発行できるよう検討する。						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員と市スポーツ協会の連携が少なくなったように感じる。お互いの担当を把握し合ったり、一緒に活動できる場があっても良いと思う。(スポーツ推進委員)</li> <li>・第40回大会に元気に関わられて嬉しい。動けなくなるまで大会を支えたいと思います。(守谷ハーフマラソン運営委員)</li> <li>・初めてボランティアに参加しました。たくさんのスタッフの皆さんに囲まれて、有意義な一日を過ごすことができました。(ハーフマラソンボランティアスタッフ)</li> </ul>						
担当課	生涯学習課						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	スポーツ協会の会員数	1,484人	1,624人	1,696人	1,800人	1,900人	B
	スポーツボランティア登録数	50人	65人	45人	50人	75人	C
	スポーツ推進事業に関わったボランティアスタッフの人数	10人	837人	1,011人	1,050人	1,100人	B

事業名	2-2-4 スポーツを活用した地域活性化	決算額	5,758(6,551)
目的	スポーツを他の様々な資源と結びつけることで、地域の魅力づくりの核とし、地域経済の活性化など地方創生につなげる。		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のイメージアップや、関係人口・交流人口の増加につながる「第40回守谷ハーフマラソン」が、市スポーツ協会主催により開催され、その運営をバックアップした。</li> <li>・誰もが気軽にスポーツに親しむ機会を提供する取組として、市の歴史・文化財等ゆかりの地や公共施設をチェックポイントに設定したロゲイニング(ナビゲーションスポーツ)」を企画し、誰もが無理なく自分のペースでウォーキング・ランニングを楽しめる機会を提供した。</li> </ul>		
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民を対象に、スポーツへの参加とその継続を促進するための事業を実施し、参加者相互の交流を通して、地域の活性化を図る必要がある。</li> <li>・「守谷ハーフマラソン」の開催に当たり、市スポーツ協会・市・市教育委員会の共催事業とすることで、独立行政法人日本スポーツ振興センター(toto)の助成事業を活用することが可能となるため、財源確保に向けて、大会実行委員会組織の再編を図る。</li> <li>・「守谷ハーフマラソン」の部門拡大(小中学生の部再開)に向けて検討する。</li> </ul>		
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動不足解消のために、孫と参加しました。置いていかれないように一生懸命歩きました。久しぶりにいろんな会話をしながら歩くことができ、良い一日になりました。(ロゲイニング参加者)</li> <li>・ロゲイニングは、設定するチェックポイントによって、様々な目的達成、課題解決が可能で、地域活性化の手段に活用できるスポーツです。担当職員の皆さんと意見を出し合いながら、良い企画になったと思います。参加者の皆さんの清々しい笑顔を見て嬉しくなりました。(ロゲイニング企画協力者)</li> <li>・ハーフマラソン2回目の参加です。スタッフの皆様の対応がとにかく素晴らしく感じます。応対や誘導など相互に連絡を取りながら対応されていました。全体的な運営も素晴らしく人気のある大会であることが伺えます。(守谷ハーフマラソン参</li> </ul>		

	加者) ・初めて参加しました。思っていたよりアップダウンが多くタフなコースでしたが、沿道の応援が素晴らしく、走っていてとても励みになりました。駅から会場まで距離がありますが、シャトルバスでのアクセスもよく、ストレスは全く感じませんでした。おもてなしも充実しており、とても満足いく大会でした。(守谷ハーフマラソン参加者) ・初めて参加しました。レース後、荷物を取りに行ったところ、先にゼッケンを見てくれ、声をかける前に荷物が出てきて、小さなことですがそれだけで感動してしまいました。もう、それだけで大満足な大会でした！(守谷ハーフマラソン参加者)						
担当課	生涯学習課						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	守谷ハーフマラソンエントリー数	未実施	3,584人	4,285人	5,000人	5,000人	B
	スポーツ振興事業参加者数(守谷ハーフマラソン除く)	326人	2,630人	2,677人	2,800人	3,000人	B

### (3) 心の豊かさを育む芸術・文化の振興

単位：千円(前年度)

事業名	2-3-1 芸術・文化に触れる機会の充実		決算額	4,602(4,646)			
目的	公共施設の設備や特色を生かした事業展開を行うとともに、多様な芸術・文化を紹介し、気軽に参加できる活動や芸術・文化に触れる機会を提供する。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術祭、美術作家展に加えて、中央公民館ギャラリーにおいて、郷土作家による個展を開催し、身近な場所で優れた作品を鑑賞できる機会を提供した。</li> <li>・中央公民館ホールを活用し、指定管理者による会場参加型イベント「なつかしの音楽の時間」(コロナ禍前の人気イベントを再開)、文化芸術体験講座「能の世界」を開催し、多くの市民に気軽に楽しく音楽や伝統文化を体験できる場を提供した。</li> <li>・アーカスプロジェクトの活動を PR するとともに、国内外の若手アーティストとの交流や現代アートを知る機会を提供した。</li> </ul>						
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の芸術文化の創造拠点として市民文化ホールの建設要望がある。</li> <li>・これまで挙げられた施設建設等のハード面及び事業運営等のソフト面での要望を踏まえ、市の芸術文化振興に関する新たな方向性を検討する。</li> <li>・令和6年度に第40回を迎える「守谷市美術作家展」を通して、郷土に根付く美術作家の優れた作品を、より多くの市民に鑑賞してもらえるよう記念事業の準備を進める。</li> </ul>						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル活動で公民館にきたら、思いがけず素敵な作品を観ることができた。個展とまではいかないと思うが、こういう機会がたくさんあると嬉しい。(市民・公民館利用者)</li> <li>・著名人の公演が市内で鑑賞できると嬉しい。(市民)</li> </ul>						
担当課	生涯学習課						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	直近1年間に芸術・文化に親しんでいる市民の割合	34.1%	36.4% (※1)	33.3% (※1)	45.0%	57%	C
	中央公民館ホールを活用した芸術・文化事業開催数	15回	47回	50回	50回	50回 (※2)	A

※1 中央公民館ホール芸術・文化事業入場者数、美術作家展・芸術祭来場者数／人口(各年.3.1 現在)

※2 当初設定した成果指標の目標値(R8)は、基準値(R2・コロナ禍)の数値をもとに、当初「24 回」を見込んだが、R4 及び R5 の実績に鑑みて 50 回に修正する。

事業名	2-3-2 芸術・文化活動の支援	決算額	1,485(1,485)				
目的	芸術・文化活動は人々に安らぎや生きがいを与え、連帯感やコミュニケーションにつながることから、守谷市文化協会やサークルの自主的な芸術・文化活動を支援する。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種サークル・団体を統括する守谷市文化協会(以下、「市文化協会」という。)を支援し、芸術・文化の振興と普及、活動の推進を図った。</li> <li>芸術文化活動団体のそれぞれの特性を生かした活動が活性化し、その成果を多くの市民に提供できるよう、基準を満たした事業に関して後援承認し、必要な情報発信を行った。</li> </ul>						
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くのシニア層が活発に活動する一方で、将来の芸術・文化活動を担う若い世代や子どもたちの活動が少ない。</li> <li>中学校部活動地域移行推進事業と連携し、市文化協会や市民アーティストが子どもたちの活動を支援したり、指導に当たるなどの仕組みづくりを検討する。</li> </ul>						
外部からの意見	年々少しずつだが会員も増えています。50 周年を目前に協会全体で記念になる取組を考えています。芸術文化を振興し、これからも、守谷市の発展と市民の文化交流に努めたいと思っています。(文化協会役員)						
担当課	生涯学習課						
	成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況
	文化協会事業開催数	8回	28回	28回	28回	30回	B

#### (4) 歴史・文化資産の継承

単位:千円(前年度)

事業名	2-4-1 歴史・文化財を知る機会の提供	決算額	7,159(640)			
目的	積み重ねてきた歴史・文化を尊重するため、子どもたちをはじめ市民が市の歴史・文化や文化財を知るとともに、保存・活用しようとする意識の高揚を図る。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>守谷市の歴史・文化を網羅的に閲覧できるデジタルミュージアムを整備し、歴史・文化等郷土資料及び文化財を公開した。市民が地域の歴史・文化を知り、探求的に学び、後世に伝えたり、知的活動につなげることが期待できるデータベースとなった。</li> <li>※新規コンテンツ:埋蔵文化財(土器・石器)、住居模型等 98 点、映像資料(とうろう踊り、守谷小唄等)5 種、図書館資料(守谷現代史、八坂神社の祇園祭報告書等)</li> <li>市の歴史や文化財を知る機会を提供するため、ウォーキングやランニングで地図をもとに時間内に指定文化財所在地等を回り、得点を集める「守谷の歴史満喫ロゲイニング(ナビゲーションスポーツ)」を開催し、市内外から参加者が集まった。</li> <li>文化財保護週間(11 月1日～7日)に「勾玉作り教室」を開催し、作るだけでなく、実際に市内で発掘された勾玉を見ながら、その由来を学ぶ機会を提供した。幅広い年代が参加し、異世代交流の場となった。</li> </ul>					

課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定文化財や刊行物の内容に関する問い合わせが増えている。</li> <li>特に子どもたちに、分かりやすく、楽しみながら郷土の歴史・文化、文化財を知ることができるよう、デジタルミュージアムに子ども向けのページを設けるなど、より関心を持てるような取組を行う。</li> </ul>						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルミュージアムの利用を促すような工夫が必要だと思う。小学校などの歴史資料として、タブレットから見られる教材として生かすことができるような興味を引く取組が必要だと思う。(文化財保護審議会委員)</li> <li>勾玉作りに興味があって参加しました。思いがけず、勾玉に関することを教えてもらい勉強になりました。(勾玉作り教室参加者)</li> </ul>						
担当課	生涯学習課						
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況	
市内の指定文化財の件数	21件	21件	21件	22件	22件	B	

事業名	2-4-2 歴史的資源を活用したまちづくりの推進	決算額	0(0)				
目的	地域の文化財の特徴を周辺環境も含めて学び、理解し、共有するとともに、都心近接でありながら自然豊かな環境を持ち合わせる市の魅力を生かし、郷土の誇るべき資源を次世代に継承するとともに、ひとつづくり、まちづくりに活用する。						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民団体等が行う自然環境・文化資源の活用による地域づくり(守谷城址の整備、立沢里山の保全、高野公民館山百合の生育など)を支援した。</li> <li>守谷市観光協会(以下、「市観光協会」という。)の協力を得て、市指定文化財「守谷城址」の指定範囲を整理し、土地の取得等を含めた保存・継承について検討した。</li> </ul>						
課題・対応方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>守谷城址の文化財指定範囲を特定し、市全体で保護に取り組むことを求める声がある。当該エリアには、個人所有の土地が混在しているが、文化財(史跡)の保存のため、所有者の財産権を尊重しつつ指定範囲の公有地化(買取・寄付等)について検討する必要がある。</li> <li>引き続き、市観光協会の協力により、範囲特定の調査・研究を進めるとともに、指定に当たっては、文化財保護審議会に諮問し、意見を求める。</li> </ul>						
外部からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>守谷の古城が最近綺麗に整備されて見学しやすいとの噂を聞き立ち寄った。城址各所のイラスト説明板がよくできていて楽しかった。よく保存されている。会員にも紹介したい。(守谷城址来訪者)</li> <li>城址のすぐ向こうに住宅地と高層マンションが見える。戦国時代と現代が同じ空間に見える。他にはないロケーションです。(守谷城址来訪者)</li> <li>守谷城址と守谷野鳥のみちが直結するのが、今からとても楽しみです。(守谷野鳥のみち来訪者)</li> </ul>						
担当課	生涯学習課						
成果指標	R2(基準値)	R4	R5	R6(見込)	目標値	達成状況	
歴史・文化の伝承に連携・協力する団体数	1団体	1団体	1団体	2団体	2団体	C	
野鳥のみち・守谷城址を訪れた人数	113,444人	55,851人	80,376人	63,000人	67,100人	A	

## ◇生涯学習の推進に対する点検評価委員の意見 記載予定欄

### (1) 自主的な学習活動の支援と機会・場の提供

#### ・子どもの読書活動の推進について

タブレットや ICT 機器の活用も大切ですが、子どもたちが本を手にしての読書活動は新たな知識を得るだけでなく、情操教育や豊かな心の育成にも役立つと思うので、継続して取り組んでいただきたい。

#### ・安心できる子どもの居場所提供について

児童クラブの待機児童ゼロは素晴らしい。自分が大井沢小に勤務していたときは、月に1回、地元のサッカークラブのコーチが来て、サッカー教室をやってくれていたが、そういった、子どもたちが放課後楽しめる取組をお願いしたい。

#### ・生涯学習推進の一環として、文化・芸術面で積極的に参加できるイベントの開催や場の提供、文化・芸術への興味を育てる働き掛けを取り入れてほしい。スポーツと文化の両者をバランスよく推進することが、社会全体の豊かさに繋がると考える。

#### ・中央図書館の利用者も増加する中、改修工事を進めていくこともニーズに応じた適切な対応と言える。今後とも、本に触れる機会を増やしていただきたい。

### (2) スポーツを楽しむ環境づくり

#### ・市スポーツ協会の自主財源確保からスポーツボランティアの募集まで、スポーツに関する環境づくりが着々と進んでいる。守谷ハーフマラソンに加えて、ヤクルトスワローズの2軍が来るという話もあり、スポーツ都市として発展していくことを期待している。

#### ・スポーツ推進のために、新たな取組を進めていることはとても素晴らしい。守谷ハーフマラソンも活況を呈しており、ますますの充実を願っている。ロゲイニングについても興味を持った。

### (3) 心の豊かさを育む芸術・文化の振興

#### ・各施設が改修されるなど環境が整う中、内容も充実していることはとても良いと思う。

### (4) 歴史・文化遺産の継承

#### ・ロゲイニングを使って守谷市の歴史・文化を理解する機会は、とても良いと思う。

## 4 感染症対策実施状況

### I 学校教育における感染症対策（学校教育課・教育指導課・学校給食センター）

#### 1 施設衛生環境の向上

内 容	経費実績
手指消毒用ジェル(寄付品)配布	0 円
ハンドソープ、ポリエチレン手袋配布	619,564 円
加湿器用クエン酸配布	179,520 円
嘔吐における食器の消毒液配布	84,240 円

#### 2 活動面での感染症対策

内 容	経費実績
なし	

### II 社会教育活動における感染症対策（生涯学習課・中央図書館）

#### 1 施設衛生環境の向上

内 容	経費実績
手指消毒用ジェル(寄付品)配布	0 円

#### 2 活動面での感染症対策

内 容	経費実績
児童クラブにおける感染症対策にかかる部屋の増設及び支援員の増員 ※密回避のため、1部屋当たりの定員を減らし、各学校とも校舎内特別教室等を借用して運営した。	45,051,323
放課後子ども教室実施中止 ※放課後子ども教室活動時に借用する校舎内特別教室等を、児童クラブ室として使用したため、活動場所に不足が生じた。	▲31,942,000

#### ◇感染症対策実施状況に対する点検評価委員の意見

- ・感染症が第5類移行となったことで、対応も縮小してきた。しかし、これまで対応してきたことは経験値として生かされると思う。大変な対応であったが、通常に戻ることは望ましいと思う。



## 〈点検評価委員会委員 総括意見〉

令和5年度守谷市教育委員会の活動に対する全体評価として、点検評価委員の皆様からいただいた総括意見は以下のとおりです（掲出は50音順となっています）。

元取手市立藤代南中学校校長

取手市教育委員会スポーツ振興課 学校教育指導員

黒羽 勉

今回もていねいな説明をありがとうございました。

「水と緑のパワースポット もりや ～持続・創造・進化するまち～」の実現に向けて教育改革に取り組まれているとのこと、「新しい時代をたくましく生きぬく人づくりを目指して」の教育目標のとおり、すべてにおいて子どもたちを大切にし、子どもたちを第一に考えながら、様々な施策に取り組まれているところに感銘を受けました。

現在の教育課題は、複雑かつ多種多様にわたっており、どれを取っても簡単なものではなく、長い時間と多くの労力を要するものばかりです。しかし守谷市では、教育委員会と学校現場が一枚岩となって、先進的な「守谷型カリキュラム・マネジメント」を提案し、実践していくことで、教育課題を解決し、毎年着実に成果が上がっているということを感じました。全国的にも有名になった「守谷型カリキュラム・マネジメント」は、完成期、円熟期に入っているようにも感じます。先進的な取組として、さらに良いものにしていってください。

今回は、御所ヶ中学校と御所ヶ丘小学校を授業参観させていただきました。ICTの活用や学び合いなど素晴らしい実践がたくさんありましたが、一番に感じたのは、児童生徒一人ひとりに学ぶ姿勢がきちんと身に付いているということです。学ぶための土台がしっかりとできているので、すべての児童生徒が生き生きと学習していました。これこそがあるべき学校の姿だと思います。素晴らしいです。

現代社会は、何が起こるか分からない予測不能の時代とされています。そんな中でも、子どもたちの笑顔を守るため、教職員の職場環境を整えるために、日々全力で奮闘されている教育委員会の皆さまに敬意を表するとともに、益々の御活躍を期待しております。

温帯とは思えないような暑い日々が続くが、小中学校とも体育館に空調設備が整い、体育学習も伸び伸びと活動できて素晴らしい。

（点検評価結果検証のために実施した学校視察において）御所ヶ丘中学校では、熱心に作業や学習する姿に模範的な中学生たちと感じた。御所ヶ丘小学校では、針を使う授業やタブレットを使って算数学習に集中する授業に感心した。学力が定着し向上する理由は、この点にあると思った。行政が環境を整え、学校では有効に活用し児童生徒の成長に生かされている。

図書館の充実が図られており、学校との連携も図られている。書店の数が減り、文字離れも進む中、良書を手にする環境を整えることは行政側の大きな役割と考えられる。是非とも、親子と一緒に絵本を読んだり、ブックトークできるような場を増やしていただきたい。

学校給食の充実にも感謝したい。食材も高騰する中、工夫したメニューで子どもたちに相応しい食事を提供している。相当の努力を重ねていると推測できる。児童生徒の身体的健康を支えるだけでなく、登校意欲も担っている。給食を楽しみとして登校している子どもたちは多い。また、家庭の貧困も言われる中で給食の存在は大いに意義がある。

学校現場では、子ども中心の活動が進んでいることと思う。先生方も、保護者を含めて、かなりの対応力が求められる状況にある。学校、教員を支援することで、児童生徒の笑顔が増えていくことを期待する。

行政の人的支援・物的支援に感謝したい。

令和5年度は「アフターコロナ」への転換の1年だった。教育の機会への制限がほぼなくなり、ただ従前に戻すのではなく大変意欲的な取組がなされた。その中でも、コロナ禍で一気に浸透したタブレット端末による教育のデジタル化と、学校と地域社会が協働で取り組む施策に注目した。

タブレット端末が全児童生徒に配付されて数年が経ち、授業に積極的に導入されたことで子どもたちも操作に慣れ親しんだ様子だ。タブレット端末でのオンライン英会話にも取り組んでいるという。視察においては、低学年から中学生まで難なく操作し、資料を作成し、それを提示しながら発表を行うという、自己発信のツールとして活用するデジタルスキルの高さに感心し、素晴らしく思った。

それを可能としているのは、現場で支える教職員への研修等、学びを支える環境づくりもよく練られているからであり、今後もICT関連のみならず、優れた教育を提供するための支援策を継続していただきたい。

学校と地域社会の連携については、御所ヶ丘中学校区での「コミュニティ・スクール」をテストケースとして体制づくりが進められた。地域の企業や人々が学校活動に参加することで、児童生徒は実践的な学びを深め、社会性や協調性を育むことに繋がっていく。

今年度の成果からは全市へ範囲を拡大した際の課題も見えてくるだろう。よく精査し、より適切な施策を検討しながら継続・発展していくことに期待したい。

学習の場としての各公共施設の改修等の整備が進められたことは喜ばしいことだ。年齢層やバックグラウンドに関係なく、地域社会全体の学びを提供する場が増えれば、教育へのアクセシビリティが向上し、さらに場の人的交流が盛んになることで、地域連携を通じて児童生徒の教育環境へ循環させていけるのではないだろうか。

以上が令和5年度の教育施策で注目した内容である。

ひとつ加えるならば、子どもたちの興味や関心に応じた多様な教育プログラムの導入と推進を望みたい。STEAM教育と言われるところの、科学技術やアート、リベラルアーツなど、特別活動を強化して横断的な学びを深めることは、自主的に学ぶ力、論理的思考からの深い考察と、創造的な問題解決能力を培い、豊かな人間性を育むだろう。それこそが市の教育目標である「新しい時代をたくましく生きぬく人づくりを目指して」を具現化する手法のひとつであると考えている。



令和6年度（令和5年度対象）  
教育委員会の点検・評価結果報告書

令和6年9月発行



守谷市教育委員会 事務局 学校教育課